

令和元年度
事業報告書

公益財団法人 静岡県産業振興財団

目 次

概 要	1
公 1 産業創出支援	5
1 創業者成長支援事業	5
2 創業者市町等支援事業	7
3 新成長産業戦略的育成事業	8
4 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業	12
5 E V・自動運転化等技術革新対応促進事業	12
6 静岡型航空産業育成事業	14
7 農商工連携支援事業	14
8 創業資金等支援事業	15
9 地域需要創造型等起業・創業促進事業	15
10 地域創生起業支援事業	15
公 2 経営基盤強化	15
1 中小企業支援センター事業	15
2 下請振興等事業	17
3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業	20
4 中小企業 I o T活用促進事業	22
5 販売戦略構築支援事業	25
6 事業承継支援事業	26
7 地域経済牽引企業創出支援事業	28
8 高度化資金貸付診断等事業	29
9 経営革新計画支援事業	29
10 設備貸与事業	31
11 中小企業振興貸与事業	32
12 設備資金貸付事業	32
公 3 科学技術研究開発支援	33
1 産学官技術交流促進事業	33
2 地域ビジネス応援事業	35
3 戦略的基盤技術高度化支援事業	36
公 4 フーズ・サイエンスプロジェクト	37
1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	37
2 高付加価値型食品等開発推進事業	40
3 産業人材育成事業	41
4 健康食イノベーション推進事業	41

令和元年度 事業報告

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

< 概要 >

令和元年度の我が国の経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかに回復した。令和元年10月に実施した消費税率の引上げに当たっては、経済の回復基調に影響を及ぼさないといった観点から、軽減税率制度や臨時・特別の措置など各種の対応策が実施された。しかしながら、元年末に中国湖北省に発生した新型コロナウイルス感染症の影響で景気は急速に悪化し、極めて厳しい状況となっており、今後内外経済を下振れさせるリスクには十分注意する必要がある。

県内経済に目を向けると、自動車販売などで消費増税の反動減が続くなど低調に推移していたが、2月以降、中国を発端とする新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、県内産業の景気は多くの業種で急降下した。

今後についても、新型コロナウイルス感染の再拡大の懸念や米中関係の悪化など、国内・海外経済ともに極めて不透明な状況が続くと予想される。新型コロナウイルスの感染終息が見通せない中、製造業・非製造業問わず、多くの業種で大きなダメージを負うことが懸念されている。今後は、この影響をいかに限定的なものとし、来年夏に延期された東京オリンピック・パラリンピックなどに向け持続的回復へ繋げていけるかがポイントとなる。

令和元年度において静岡県では、実効性のある施策展開により、静岡県経済の持続的な成長を図っていくため、5つの産業成長戦略を柱とした産業成長戦略2019を策定し、県内企業の支援を実施した。

このような状況の中、当産業財団では、他の産業支援機関との連携を強化して事業を進めた。

令和元年度の重点的取組として、昨年度に続き、創業者の成長支援、中小企業の新成長分野への参入促進のための支援や現場における経営改善活動を促進するための人材育成を実施した。販路開拓支援においては、下請受注の確保、展示会への出展支援を実施した。また、静岡県IoT活用研究会の運営等、次世代産業の創出を目指す取組を強化した。また、中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークの連携を強化した。併せて県の産業成長戦略の一翼を担う「フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト」への取組を一層推進するなど、事業はおおむね計画どおり実施した。

< 事業総括 >

令和元年度の実施事業は、別図のとおりであるが、このうち、新成長分野や県の産業成長戦略関連など、当財団が元年度に特に重点的に取り組んだ事業は、次のとおりである。

(1) 創業者成長支援事業

県内の市場深耕だけでなく全国や海外の市場を見据えた成長志向の強いスタートアップ期の創業者に対して、メンターや専門家等からのアドバイスにより、ビジネスプランの磨き上げとプレゼン能力の向上をサポートし、成長軌道に乗せるまでの支援を行った。

(2) 新成長産業戦略的育成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援した。

助成事業では、成長産業分野に関連する自社の研究開発成果を活用して、製品化及びその事業化に取り組む活動に係る経費を助成したほか、航空機産業参入条件になっている認証取得については、助成の指定を行った。

支援事業では、セミナー、研修会等の開催、展示会の出展支援、コーディネーターなどによるマッチング支援等を実施した。

(3) E V ・自動運転化等技術革新対応促進事業

E V（電気自動車）化、自動運転化などに対応するため、産業界や関係機関と連携しながら、地域企業の技術者養成や研究開発・事業化支援や、自動車関連企業O Bのコーディネーターによる販路開拓支援を推進した。

(4) 専門家派遣事業

創業支援、中小企業の経営基盤向上及び新分野進出等を支援するため、経営・情報・技術・デザイン・I S O等の専門家を派遣し、助言を行った。

(5) 展示会出展支援事業

首都圏で開催され大規模な集客が見込まれる専門展示会の「機械要素技術展」へ静岡県ブースとして出展し、販路開拓を支援した。また、トヨタ自動車㈱東富士研究所で次世代自動車技術提案会を開催した。

(6) しずおかものづくり革新インストラクタースクール実施事業

（一社）ものづくり改善ネットワークと連携し、産業支援機関のコーディネーターや企業の現場管理者等を対象に「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を開催し、現場における経営改善活動を指導できる人材を養成した。また、養成したインストラクターを中小企業に派遣し、生産現場の改善を支援した。

(7) 中小企業I o T活用支援事業

静岡県I o T活用研究会の運営業務を受託し、県内中小企業におけるI o Tの利活用を促進することにより、新たな企業連携・産学官連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。また、ふじのくにI C T人材育成プロデューサーを配置し、I C T人材育成に関する施策の立案・調査や、I C Tに関する企業の技術力向上を図った。

(8) 販売戦略構築支援事業

販路開拓・拡大に課題を抱える県内中小企業に対し、外部専門家が具体的にアドバイスを行う販売戦略サポート委員会を開催し、伴走型支援を実施した。

(9) 事業承継ネットワーク事務局運営事業

中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、各市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークの連携強化を図った。

(10) 経営革新計画支援事業

中小企業新事業活動促進法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談、申請受付、調査等を、商工会議所、商工会、中小企業団体中央会、金融機関等と連携して実施した。

(11) 事業プロデュース事業

事業プロデューサーを配置し、シーズ・ニーズの掘り起こしからマッチング、その先の事業化に向け、企業の技術やニーズを活かした製品・サービスを事業化の観点から高め、広く流通させるための支援を行った。

(12) 地域ビジネス応援事業

地域発ビジネスの活性化を応援する目的で、県内中小企業者、特定非営利活動法人、創業者が行う、新たな事業の展開、新たな製品や役務の提供、新たな販路の開拓等に対して、また、産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援として助成金を交付し支援した。

(13) フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業

フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画に基づき、プロジェクトを推進する中核機関として、地域資源を活用した高付加価値型食品等の開発及び県内に集積する食品・医薬品・化成品産業を母体にした次世代型の食品・化成品関連産業の創出を図った。

(14) 健康食イノベーション事業

産学官連携により、健康食をテーマとするプラットフォームを構築し、活用を促進するため、情報発信フォーラムを開催した。また機能性表示食品等の事業化に向けた研究開発や海外市場向け製品開発・販路開拓を支援した他、外食等の店舗に対し健康食メニューの開発・販路開拓事業や海外市場においてテストマーケティング等を行った。

< 決算総括 >

令和元年度の経常収益（事業規模）は、公益目的事業及び法人会計合わせて1,128,902千円となり、前年度の948,052千円に対して180,850千円の増加となった。

経常費用は、1,181,643千円で前年度の988,006千円に対して193,637千円の増加であった。

令和元年度の収益・費用の増減要因としては、収益としては、期中に農商工連携基金を活用した事業終了に伴い特定資産受取利息が半減、設備貸与事業に係る事業収益の減少があったが、地域創生起業支援事業、健康食イノベーション事業の実施に伴う受取県補助金の増加、戦略的基盤技術高度化支援事業の事業管理機関数の増加に伴う受取国補助金の増加等により収益全体としてはプラスとなった。費用の増加としては、設備貸与事業に係る貸倒引当金繰入、実施事業数増加に伴う人件費の増加、新成長産業戦略的育成事業、E V・自動運転化等技術革新対応促進事業、地域創生起業支援事業に係る支払助成金の増加、フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトに係る委託費の増加、戦略的基盤技術高度化支援事業に係る支払負担金の増加、農商工連携基金を活用した事業の最終年度による返還金の発生などが挙げられる。これらのことから、当期経常増減額は、マイナス52,740千円と、前年度に比べて12,787千円のマイナスとなった。

当期経常外増減額は、プラス9,314千円と、前年度に比べて1,481千円増加した。

このため、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた当期一般正味財産増減額は、マイナス43,426千円と、前年度のマイナス32,121千円に比べてマイナス11,305千円となった。

令和元年度事業一覧（決算額）

I 公益事業

1,162,126

単位：千円

公1 産業創出支援	433,373	創業支援	1 創業者成長支援事業	23,693
			2 創業者市町等支援事業	2,256
		新分野開拓	3 新成長産業戦略的育成事業	221,048
			4 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業	8,170
			5 EV・自動運転化等技術革新対応促進事業	67,412
			6 静岡型航空産業育成事業	41,377
			7 農商工連携支援事業	15,011
		創業資金支援	8 創業資金等支援事業	0
			9 地域需要創造型等起業・創業促進事業	1,430
			10 地域創生起業支援事業	45,287
		共通		7,689
公2 経営基盤強化	352,583	経営支援	1 中小企業支援センター事業	84,424
			2 下請振興等事業	65,064
			3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業	20,064
			4 中小企業IoT活用促進事業	15,415
			5 販売戦略構築支援事業	3,780
			6 事業承継支援事業	19,793
			7 地域経済牽引企業創出支援事業	2,172
		経営等診断	8 高度化資金貸付診断等事業	19,016
			9 経営革新計画支援事業	28,772
		設備支援	10 設備貸与事業	71,498
			11 中小企業振興貸与事業	2,012
			12 設備資金貸付事業	5,388
		共通		15,184
公3 科学技術研究開発支援	212,021		1 産学官技術交流促進事業	31,576
			2 地域ビジネス応援事業	7,122
			3 戦略的基盤技術高度化支援事業	170,975
		共通		2,348
公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト	146,704		1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	100,548
			2 高付加価値型食品等開発推進事業	8,663
			3 産業人材育成事業	2,247
			4 健康食イノベーション推進事業	29,343
		共通		5,903
		公益目的共通		17,444

*各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

I 公益目的事業

() 内は前年度正味財産増減計算書額

事業費 1,162,126 千円 (965,292 千円)

公1 産業創出支援

事業費 433,373 千円 (367,134 千円)

創業者、ベンチャー企業、新事業に挑戦する企業等の多様な経営課題に対する相談・指導、新事業の展開へ向けた資金調達の支援、販路開拓の支援、新分野開拓への支援等、新たな産業創出を支援する事業を行った。

1 創業者成長支援事業

事業費 23,692,980 円

県内の市場深耕だけでなく全国や海外の市場を見据えた成長志向の強いスタートアップ期の創業者に対して、メンターや専門家等からのアドバイスにより、ビジネスプランの磨き上げとプレゼン能力の向上をサポートし、成長軌道に乗せるまでの支援を行った。

(1) 事業参加者及びメンター等

○事業参加者(8社)

・ファーストステージ(=令和元年度からの参加者) 6社 (敬称略)

企業名	代表者名	創業年月
ママと子のあったかサポートあんど	中村 亜矢子	2019年10月
(株)はなか	宮武 弓佳	2019年5月
RIHO MATUBARA	松原 里穂	2019年5月
ソリューションデータサービス(株)	望月 晃	2017年8月
かぎかつこ	小野寺 啓	2018年6月
(株)OTONO	青木 真咲	2018年8月

・セカンドステージ(=平成30年度からの参加者) 2社 (敬称略)

企業名	代表者名	創業年月
(株)D-zone	土橋 武司	2013年8月
(株)アスタワシ	久米 幹夫	2013年5月

○メンター 7名

(敬称略)

氏名	企業名	役職
青木 邦章	(株)スペースクリエーション	代表取締役
山崎 かおり	(株)山崎製作所	代表取締役
杉本 一成	東海電子(株)	代表取締役
山本 敬介	(株)ジオロケーション	代表取締役
二村 眞行	(株)ショービ	代表取締役
増田 正寿	インフィック(株)	代表取締役社長
松田 敏孝	(株)サンロフト	代表取締役社長

○事業協力者

有限責任監査法人トーマツ静岡事務所

■事業全体に対する参加者評価 (5点満点・平均点)

- 提供した支援内容全般 : 4.1点
- 財団スタッフの運営・サポート : 4.6点
- 事業協力者の運営・サポート : 4.0点
- 全体的な満足度 : 4.6点

(2) キックオフ及びフォローアップミーティング

関係者の顔合わせだけでなく、セミナーによる情報提供や意見交換を行う場の創出により、関係者間の連携強化を図ることを目的に実施した。

- ・実施日：令和元年7月26日(金) 13:00~17:20
- ・会場：トーマツ静岡事務所(葵タワー17階)
- ・参加者：37名
- ・内容：自己(事業)紹介・セミナー等実施

テーマタイトル「ブランディング戦略とSNSの有効活用について」

講師：株式会社サイバーアシスト 代表取締役社長 吉村正裕氏

■参加者評価 大変満足 85.8%、満足 7.1%、普通 7.1%、不満 0%、とても不満 0%

(3) 起業家ミーティング及びメンターアドバイス会議

ビジネスフレームワークの習得やプレゼンスキルの向上。また、メンターからの助言によりビジネスプランのブラッシュアップを図ることを目的に実施した。

日付	内容	対象	参加者数	メンター	会場
R 元. 8. 8 (木)	夢・ビジョン	1ST	4名	1名	トーマツ静岡事務所
R 元. 9. 19 (木)	環境分析	1ST	5名	2名	トーマツ静岡事務所
R 元. 10. 15 (火)	ビジネスプラン	2ND	2名	2名	産経会館7階
R 元. 10. 24 (木)	戦略・アクションプラン	1ST	5名	2名	トーマツ静岡事務所
R 元. 11. 26 (火)	アクションプラン	2ND	2名	2名	産経会館7階
R 元. 11. 28 (木)	フォローアップ	1ST	5名	6名	トーマツ静岡事務所
R 元. 12. 10 (火)	プレゼン講習	1ST・2ND	7名	-	トーマツ静岡事務所

■参加者評価 1ST：大変満足 23.8%、満足 71.4%、普通 4.8%、不満 0%、とても不満 0%
2ND：大変満足 75%、満足 25%、普通 0%、不満 0%、とても不満 0%

(4) ビジネスプラン発表会

メンターアドバイス会議での助言や起業家ミーティングを通じてブラッシュアップしたビジネスプランを、企業を中心とした聴講者の前で発表し、新たなネットワークの構築やビジネスマッチングを図ることを目的に実施した。

- ・実施日：令和2年1月21日（火）
- ・会場：トーマツ静岡事務所 葵タワー17階
- ・聴講者：70名
- ・登壇企業：以下8社

企業	発表テーマ
(株)Otono	音声アトラクションOtonoによる、静岡県まるごと観光地劇場化構想
カギカッコ	表現とテクノロジーのチカラで、静岡/島田から各地をつなぐ制作会社
”ママと子のあったかサポートあんど”	ママの孤立化・子ども虐待を減らす取り組み「産前・産後・育児ママ長期的多様サポート」～ずっとこんな欲しかった～
RIHO MATSUBARA	静岡の食をヨーロッパへ
(株)はなか	体験型集客イベント「おひめさまごっこプロジェクト」の提案
ソリューションデータサービス(株)	その「お悩み」を新たな気付きに変える
(株)アスタワン	世界で1つだけの絵本を製作・製本「えほんクル〜0円からの絵本作り」
(株)D-zone	車の新しい価値観を提供します！



■イベント聴講者評価 満足 77.1%、普通 22.9%、不満 0% *3段階評価

(5) 個別支援等の実施

上記(1)～(4)の事業参加者の事業実施効果を高めるため、事業計画策定等の個別指導やマッチング支援を実施した。

内容	実施回数
ビジネスマッチング	7回
ビジネスプラン・発表用パワポ等作成サポート (1ST)	7回
ビジネスプラン・発表用パワポ等作成サポート (2ND)	8回
計	22回

2 創業者市町等支援事業

事業費 2,256,379 円

創業支援ノウハウ等の少ない県内市町等をサポートし、県内の創業環境の向上を図るため、支援能力向上を目的とした研修会や県内各市町が実施する創業セミナーや創業相談会等の支援を行なった。

(1) 創業支援担当者研修事業

各市町、商工団体、金融機関等の創業支援担当職員を対象に、創業相談に係る知識習得を目的とする研修会を開催した。

○初任者研修

開催日	実施場所	参加人数	テーマ	講師
R 元. 5. 17 (金)	沼津市	12 名	「これだけはおさえておきたい効果的な創業支援の実施ポイント」	(株)ハーモニーリンク 代表取締役 馬込 正 氏
R 元. 5. 20 (月)	浜松市	15 名		
R 元. 5. 21 (火)	静岡市	13 名		

■参加者評価 大変満足 56.8%、満足 37.8%、普通 5.4%、不満 0%、とても不満 0%

○実践編研修

開催日	実施場所	参加人数	テーマ	講師
R 元. 9. 6 (金)	静岡市	11 名	令和元年度創業支援担当者上級者向け研修「成功するビジネスモデル策定手法」	(株)ハーモニーリンク 代表取締役 馬込 正 氏
R 元. 9. 20 (金)		12 名		
R 元. 10. 4 (金)		12 名		

■参加者評価 大変満足 54.3%、満足 40%、普通 5.7%、不満 0%、とても不満 0%

○テーマ別研修

開催日	実施場所	参加人数	テーマ	講師
R 元. 12. 4 (水)	静岡市	23 名	独立・開業・起業の失敗パターン 100 連発！！	(株)サイバーアシスト 代表取締役 吉村 正裕 氏

■参加者評価 大変満足 65.3%、満足 21.7%、普通 13%、不満 0%、とても不満 0%

開催日	実施場所	参加人数	テーマ	講師
R2. 1. 27 (月)	静岡市	18 名	スケールするだけが起業ではない！ ～ママ起業育成のパイオニアから学ぶ～	(一社)日本女性起業家 支援協会 日本ママ起業大学 代表理事 近藤洋子 氏

■参加者評価 大変満足 50%、満足 50%、普通 0%、不満 0%、とても不満 0%

(2) 市町個別支援事業

各市町等の創業支援機関が実施する創業セミナー及び創業相談会の実施方法に関するアドバイスの他、財団職員をセミナー講師や相談員として派遣するなど、各市町の創業支援施策実施に関する支援を行った。

○市町個別支援

相談内容	件数
情報提供・情報交換等	66 件
具体的支援(講師派遣、個別相談対応等)	20 件
市町等の創業支援事業に対する助言(講師紹介等)	2 件
計	88 件

(3) 創業施策情報提供事業

一元的な情報発信によるワンストップサービスを提供するため、支援施策情報等をホームページ、メールマガジンで配信した。

- 財団専用ホームページによる情報発信(アクセス数) 62,453 回
- メールマガジン発行 24 回 延べ 56,093 人 (2,337 人/回)

本県経済の持続的な発展のため、成長が見込まれる産業分野の拡大を図り、国内外の経済情勢の変化を受けにくい多極的な産業構造の形成を目指す。今後の成長が期待される産業分野(新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境)への、中小企業の参入支援をより一層加速させるとともに、事業化や販路開拓支援にも重点的に取り組み、本県産業の成長力を強化して次世代成長産業の創出を図る。新たな成長産業分野への参入を目指す中小企業に対し、技術相談から研究開発、事業化・販路開拓まで一貫した支援に取り組んだ。

(1) 新成長産業助成事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ県内中小企業が参入することを支援するため、研究開発、事業化推進への活動に対して助成した。

① 産学官連携研究開発助成

成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を大学・県内公設試験研究機関と連携して行う取り組みに対して助成した。

事業名・実績	助成例(抜粋)
産学官連携研究開発助成 助成件数 8 件 (中小企業 8 件) 確定金額 52,249 千円	病原体媒介節足動物を標本としたウイルス迅速簡便検出器の開発  蚊やマダニなどの吸血性節足動物には、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、デング熱、マラリア等の感染症疾患を起こす病原体を媒介するものが存在する。これらの節足動物種は総称して「ベクター」と呼ばれ、ベクターが伝播するウイルス病原体のvDNAを対象に、マルチプレックス等温遺伝子増幅法を基盤とした病原体迅速簡便検出のためのμTAS検査チップおよび検査装置の開発を行う取り組みに助成した。 検査チップ(試作品)

② 中小企業研究開発助成事業

成長分野をはじめ幅広く、産業応用・展開の可能性を有する新技術・新製品等の実用化を目的とした研究開発を行う中小企業の取り組みに対して助成した。

事業名・実績	助成例(抜粋)
助成件数 5 件 (中小企業 5 件) 確定金額 18,779 千円	緑茶葉・柑橘類由来の食品用CNFの開発及び商品化  緑茶もしくは緑茶+柑橘を原料とする食品用CNFの製造方法を確立すること、マイクロ波減圧乾燥機で濃縮し、最適な濃度の食品用CNFの製造方法を確立すること、及び低濃度の食品用CNFを実際に食品と混合・分散し、マイクロ波減圧乾燥機で水分を除去した後に加熱処理を行う等の食品加工方法を確立する取り組みに助成した。 ウスの外観

③ 事業化推進助成

中小企業が、成長分野に関する研究成果を活用した新製品・技術の開発及び事業化のための取り組みに対して助成した。

事業名・実績	助成例(抜粋)
助成件数 7 件 (中小企業 6 件) 確定金額 81,103 千円	大面積高精細測色器の開発  巨大な構造物や橋梁等の外装や大型建機、船舶のボディカラーなど、色を評価する高解像度で大面積の対象物(建造物など)を計測したいというニーズがある。これまでの色票での校正では、色指定範囲が狭く、人の目の色域全体での精度が悪くなっているため、それを是正する電子色票を用いた2次元色彩計高精度校正装置を開発した。 2次元色彩計高精度校正装置

<これまでの成果>

助成金名	助成件数 (累計)	調査時期	商品化件数	販売実績の ある企業数	販売金額	知財等 取得件数
中小企業成長 基盤強化事業助成金 (H22～H24)	67社	H27. 4 67社	18社	17社 (試作品 販売含む)	263, 369千円	12件 (出願件数)
新成長産業 研究開発助成金 (H25～)	95社	H31. 4 48社 (H29年度 助成まで)	13社	15社	3, 045, 961千円	20件 (出願件数)

④航空機産業認証取得助成

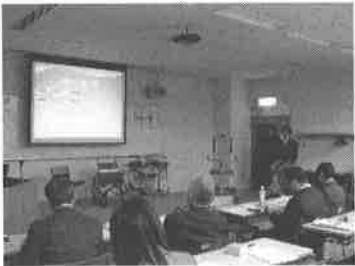
航空機産業参入条件になっている品質マネジメントシステム規格「JIS Q 9100」や国際特殊工程認証システム「Nadcap」の認証取得にかかる経費を助成した。(原則、2年計画)

事業名・実績	助成例
航空機産業認証取得助成 ・平成28年度認証取得件数 3件 ・平成28年度指定件数 2件 ・平成29年度認証取得件数 2件 ・平成29年度指定件数 2件 ・平成30年度認証取得件数 0件 ・平成30年度指定件数 2件 ・令和元年度認証取得件数 2件 ・令和元年度指定件数 1件	JIS Q 9100、Nadcap 平成29年度は2社を指定した(JIS Q 9100: 2社)。1社は1年で認証を取得し、1社は辞退したため、平成30年度の認証取得は無い。 平成30年度は2社を指定した。(JIS Q 9100: 2社)。令和元年度は、前年度指定した企業2社が、JIS Q 9100の認証を取得した。また、新たに1社について、JIS Q 9100の認証の交付指定をした。

(2)新成長産業支援事業

新エネルギー、次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、環境などの新たな事業分野へ、県内中小企業が参入することを支援するため、ビジネスマッチング、啓蒙・啓発、人材育成、販路開拓、調査・研究、試作・実証試験への助成などの事業を行った。

分野	セミナーの開催等	展示会への出展	マッチング
次世代 自動車		第17回学生フォーミュラ日本大会出展(令和元年8月30日～31日、エコパスタジアム、出展3社) 	

医療・福祉機器	医工連携スタートアップ支援事業(委託)(採択件数5社) 	医工連携出合いのサロン(委託) (第32回日本内視鏡外科学会に併設される展示会に出展。令和元年12月5～7日、パシフィコ横浜、出展5社) 	
		化粧品開発展 COSME Tec2020への出展支援 (会期：令和2年1月20日～22日、東京ビックサイト、出展：7社、成約金額：980千円【1週間後】) 	

ロボット	ロボット活用による先進ものづくり人材の育成(委託) ロボット体験教室、電子工作教室、ロボットメーカー講習会等 開催日：令和元年5月19日～令和2年2月23日（全29回） 開催場所：沼津市、磐田市 参加人数：延べ352名  ロボット産業参入のためのセミナー事業 開催日：令和元年10月10日 開催場所：静岡県教育会館 受講者数：72名 	第4回ロボデックスへの出展支援 （会期：令和2年2月12日～14日、東京ビックサイト、出展：6社、成約金額：85千円【1週間後】） 	
航空宇宙	航空宇宙中核人材育成事業(委託) 西部会場：令和元年10月25日～令和2年2月5日 講義：浜松商工会議所、沼津商工会議所 実習：ポリテクレッジ 浜松、ポリテクセンター静岡 受講者数 16名 	エアロマート名古屋への出展支援 （委託）（令和元年9月24日～26日、名古屋市中小企業振興会館 吹上ホール、出展4社 【会期直後】見積依頼：5件、後日訪問20件	専門家(重工OB)によるマッチング支援(委託) 静岡県内企業、重工メーカー訪問によるマッチング支援 ・訪問件数：46件 ・見積件数：532件 ・売上：500百万円
環境			静岡県・浙江省環境プラットフォーム事業（委託） ① 県内ビジネスマッチング、環境協力推進会議 令和元年11月25日～26日 場所：各県内企業 参加：浙江省企業7社、県内企業5社 ② 浙江省ビジネスマッチング 令和元年7月10日～13日 場所：浙江省 参加：県内企業1社、浙江省企業5社

共通	・ホームページの運営（閲覧者数 8,091名） 
----	--

<平成30年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展者数	調査時期	成立件数	成立金額
MEDTEC Japan2018	H30. 4. 18 ～20	東京ビックサイト	10社	1年後	2件	216千円
人とするまのテクノロジー展2018	H30. 5. 23 ～25	パシフィコ横浜	6社	1年後	25件	14,792千円
アンチエイジングジャパン2018	H30. 9. 10 ～12	東京ビックサイト	10社	1年後	6件	2,788千円

4 先端企業育成プロジェクト事業化推進事業

事業費 8,170,040 円

国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）と共同で行った先端企業育成プロジェクト推進事業（県補助金）終了分野の研究開発成果を活用し、事業化につなげるために、研究開発を行う県内企業に対して助成した。

(1) 助成事業

事業名・実績	助成例(抜粋)
先端企業育成プロジェクト事業化推進助成 助成件数 1件 (中小企業 1件) 確定金額 8,101千円	超薄型ガラスのインライン検査を可能とする超高速複屈折計測装置の製品化と応用技術開発 薄板ガラスの製造工程における重要な品質管理項目である「残留歪み」を、従来の高い精度を保ちつつ超高速計測（従来比50倍）が可能な世界トップ性能の複屈折計測装置を開発・製品化を目指す事業に助成した。  インライン計測用デモ装置

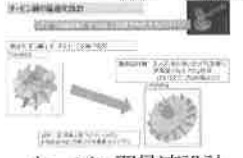
5 EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

事業費 67,412,374 円

EV（電気自動車）化、自動運転化などに対応するため、産業界や関係機関と連携しながら、地域企業の技術者養成や研究開発・事業化支援や、コーディネーターによる販路開拓支援を推進した。

(1) 助成事業

事業名・実績	助成例(抜粋)
次世代自動車技術革新対応促進助成事業（産学官連携型） 助成件数 1件 (中小企業 1件) 確定金額 1,371千円	燃料電池車用サイクロンセパレータの粉粒体分離効率の向上を目指した内部流れ解析及び最適化 FCV用燃料電池のプレフィルターとして使用するためには、最終的にはサイクロンを小型化する必要がある、まずは形状を変更したモデルでの流れ解析を行うことにより最適な形状を選定することを目指した。数値解析による内部の流れ線を解析すると、ダストフォルダーに流入し易い（粒子回収効率が大きい）モデルは、流入管角度外向き $\alpha = 10^\circ$、コンカル部円錐長さ $1.4D$（Dはコンカル部最大径）であることがわかった。  流れ解析用モデル

次世代自動車技術革新対応促進助成事業 (一般型) 助成件数 3件 (中小企業 3件) 確定金額 7,927千円	半導体センサを用いた超高速残留応力測定システムの開発 半導体センサを用いた超高速センサユニットを開発し、測定時間を現行装置の1/6に短縮することができた。この高速性は、世界トップクラスでこれまで以上の高い競争力を獲得することになり、ポータブル型X線残留応力測定装置分野での高い市場占有率をさらに高めることができる。 開発した超高速残留応力測定装置を、学会、ものづくり関連の展示会(モーター展等)に参考出品予定。	 超高速センサユニット
次世代自動車技術革新対応促進助成事業 (事業化型) 助成件数 2件 (中堅企業 2社) 確定金額 26,029千円	内燃機関の排気エネルギー再利用による熱効率向上装置の開発 燃料の1/3といわれる排気として捨てている内燃機の損失(排気損失・排気エネルギー)を利用し、電気エネルギーを回収する装置を開発する取り組み。タービン翼&EXハウジングについて、流体解析で効率向上を検討し、EXハウジングのポートを改良した結果、エンジン同回転数で発電量を向上させた。	 タービン翼最適設計
試作品開発助成(次世代自動車) 助成件数 8件 (中小企業 6件、 中堅企業 2件) 確定金額 11,124千円	次世代高機能バッテリーの試作品製作 次世代バッテリー(リチウム鉄リン系複合酸化物バッテリー)を使用したジャンプスターターのサンプルを製作する取り組み。成果品を、第11回国際二次電池展(2月26日~28日開催)に展示。	 電源ユニット

(2) 支援事業

分野	セミナーの開催等	展示会への出展	マッチング
次世代自動車	次世代自動車中核人材育成講座 ① 最新動向セミナー 令和元年9月24日、静岡県男女共同参画センター、107名/68社・団体 ② 設計シミュレーション実習、令和元年10月4日、浜松工業技術支援センター、14名/11社 ③ 要素技術研究講座、浜松工業技術支援センター、令和元年11月22日、12月6日、37名/29社・団体	「人とくるまのテクノロジー展2019」出展(令和元年5月22日~24日、パシフィコ横浜、出展6社、成約金額41,800千円【6ヶ月後】)  次世代自動車技術提案会(令和元年9月12日、トヨタ自動車(株)東富士研究所、出展22社、商談件数5件、成約件数0件【6ヶ月後】) 	次世代自動車コーディネーター2名配置(財団所属) 企業訪問件数:146件 (内新規67件)

6 静岡型航空産業育成事業

事業費 41,377,460 円

航空機産業における中小企業の受注活動の拡大や技術高度化を図るとともに、MRO（整備・修理・オーバーホール）関連産業の視野を広げることを目的とする。

航空機産業の振興を図るため、地方創生推進交付金を活用し、以下の事業に取り組んだ。

(1) 助成事業

事業名・実績	助成例(抜粋)
航空機産業設備投資事業費補助金 助成件数 5件 (中小企業 5件) 確定金額 40,307千円	ターニングセンタ 新規に、PISTON加工専用機としてのターニングセンタを導入することで、加工時に、段取り替えによる時間が削除されることにより生産性が向上し、生産計画が確保される。計画的に生産ができるため、手待ちロス、運搬ロス、加工ロス、動作ロス、不良ロス等の軽減が図れ、納期遵守100%に繋がる施策となった。 本設備導入により、生産性は 30個/週 ⇒ 40個/週に向上し、また、不良率は、3% ⇒ 0.5%に減少した。 

7 農商工連携支援事業

事業費 15,010,558 円

地域産業の活性化を図るため、静岡県からの借入金(8.1億円)と当財団からの拠出金(1.9億円)により、平成21年度にしずおか農商工連携基金(総額10億円)を造成した。基金の運用益を、中小企業者と農林漁業者が連携して行う新製品の開発・販路開拓への取組に対して助成した。

<事業実績>

事業名	件数	確定金額
新商品・新サービス開発事業	5件	7,217千円
販路開拓事業	0件	0千円
省エネルギー等対策事業	1件	2,000千円
計	6件	9,217千円

○助成例(抜粋)

新商品・新サービス開発事業 空とぶ合同会社	
真鯛のフィレとそのアラを使ったダン商品の開発	
マダイフィレの開発 沼津産の真鯛の一般における認識を高めるため、凍結した真鯛を解凍し、効率的にフィレを商品化するための検討を実施した。又、製造工程において排出されるアラを有効活用し、マダイスープとして、真鯛出汁のラーメンを開発した。さらに、これらの工程において排出される端材を活用して鯛みそを開発した。本事業により、本来捨ててしまうはずの剥き身や端材を加熱調理で加工することで、原価割れしない付加価値商品開発をした。今後は鯛みそのラインナップを増やし、沼津港のお土産需要やふるさと納税の返礼品となるようマーケティング強化に努める。	
省エネルギー等対策事業 株式会社エムスクエア・ラボ、有限会社増島農園	
ユニバーサル&スマート農業による苺栽培の生産性向上実証事業	
苺栽培の生産性向上のために、農場内においてユニバーサルデザインを取り入れた移動カート及び省電力のための防湿型LEDライトを導入するとともに、無線LANを導入することでスマートフォンを活用した温湿度の遠隔監視を行う実証実験を実施した。種別の異なる障害者を現場管理者として採用し、その問題点及び農場内におけるリスクを抽出した。事業終了後は、本成果を公表することで、関連する事業従事者に提供できるよう体系化に取り組む。	

<これまでの成果>

助成金名	助成件数 (累計)	調査時期	販売実績のある グループ数	販売金額
農商工連携助成金 (H21～R元)	113グループ (R元年度助成まで)	H31.4 (H30年度助成まで) 106グループ	50グループ	113,260千円 (H30年度売上合計)

8 創業資金等支援事業

事業費 0 円

(1) 創造的中小企業創出支援事業 (間接投資)

H8年度以降に実施した創造的中小企業の発行社債についてのベンチャーキャピタル引き受けに対する債務保証業務が終了したため、H24年度で事業は終了した。なお、事業終了後に発生するベンチャーキャピタルからの債権回収業務を行った。

9 地域需要創造型等起業・創業促進事業

事業費 1,429,959 円

独立行政法人中小企業基盤整備機構から創業補助金の静岡県事務局の委託を受け、H24年度補正予算事業及びH25年度補正予算事業に係る補助金交付先の管理業務を行った。(委託期間 R2.12 末まで)

○収益納付事務

	件数
平成24年度補正予算事業	2
平成25年度補正予算事業	0
計	2

10 地域創生起業支援事業

事業費 45,287,074 円

地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業を支援するため、創業事業費に要する経費の一部を補助すると共に起業家への伴走支援を行った。

(1) 起業支援金

交付件数	24 件
交付金額	34,583 千円

【成果】

売上高累計 (創業～令和元年12月)	41,058 千円
従業員数累計 (創業～令和元年12月)	24 人

(2) 伴走支援

交付決定した起業家に中小企業診断士を派遣し、事業計画の相談対応や販路開拓等の経営支援を行った。

・実施回数 2回/社

公2 経営基盤強化

事業費 352,583 千円 (373,793 千円)

企業が抱える経営課題等への相談や経営革新への取組に対する指導、課題解決のための専門家派遣、下請企業への受注機会の提供、取引条件の改善支援、設備投資に対する有利な条件の資金の供給等、中小企業の経営基盤の強化を図る事業を行った。

1 中小企業支援センター事業

事業費 84,424,406 円

経営の助言、調査、研究、情報の提供等を行うことにより中小企業の経営資源の確保を支援した。

(1) 支援体制整備事業

① 支援機関等連携促進事業

○県内支援機関等との情報交換・事業連携等のための会議。

開催日	会議名	開催場所
R 元. 7. 4(木)	静岡県支援機関連絡促進会議	静岡県産業経済会館 3F 大会議室

○県内支援機関等との情報交換・事業連携のため訪問

訪問日	訪問先	目的
R 元. 11. 14(木)	東部4信金ビジネスマッチングフェア	情報交換・事業連携
R2 . 1. 22(水)	浜松商工会議所(とうとおみセクション)	
R2 . 1. 23(木)	光創成大学大学院 Photo Challenge2020	

○全国またはブロック単位の会議参加や他都道府県の支援機関等が行う会議への参加及び人材交流・支援策調査等を行った。7回7人

○経営革新支援

経営革新パンフレットを作成し、経営革新相談窓口(地域支援センター等)へ配布

○国の補助金等の認定支援(ものづくり補助金・地域未来投資促進法)・・・11件

②支援体制整備事業

○専門家の登録及び支援企業の募集

ア. 創業者や中小企業者が抱える問題・課題解決を支援するための専門家(経営・情報化・技術・デザイン・ISO分野)の登録更新・新規登録者の募集を行った。なお、登録専門家はホームページ上で公開している。

専門家登録数

R 元年度当初登録者数	458 名
R 元年新規登録者数	39 名
計	497 名

イ. 経営革新等のパンフレット作成・配付

ウ. 支援企業訪問、地域の支援機関との連携等による支援対象者の発掘を行った。

87社・団体へ訪問(73回115人)

(2) 専門家派遣事業

創業者や中小企業者の経営基盤向上、新分野進出等を支援するため、経営・情報化・技術・デザイン・ISO分野の専門家の登録、および情報の公開を行い、中小企業者等からの要請に応じて専門家を派遣(1/3受益者負担)し、助言を行った。なお、ISO分野で認証取得を目指す企業に対し長期(1企業10回予定)の専門家派遣を実施し、認証取得の支援を行った。

実施数: 派遣 363 社 1,535 回 (内、コロナ関係対策分 5 社 8 回 : 経営分野)

	経営	情報化	技術	デザイン	ISO	計
派遣企業数	233 件	72 件	24 件	25 件	9 件	363 件
派遣回数	990 回	301 回	74 回	99 回	71 回	1,535 回

(3) 人材育成・情報提供等事業

①経営支援担当者研修

中小企業基盤整備機構(中小企業大学校)が実施する支援担当者の支援スキル向上に係る支援担当者研修等及び知的財産関連の知識修得等に関する研修に職員を派遣した。

- ・ 支援担当者専門研修 5 名
- ・ 静岡県診断士協会 診断士研修 8 名

開催日	テーマ	開催場所	出席者
R 元. 12. 4~6	製造業の新市場参入支援	中小企業大学校	1 名
R 元. 12. 11~13	観光ビジネス活性化支援の進め方		1 名
R2. 1. 8~10	小規模企業の IT 化支援の進め方		1 名

R2. 1. 24～25	データ分析講座		2名
R元. 8. 25	診断士研修（静岡県診断士協会）	静岡商工会議所	7名

② I S Oセミナー開催

I S Oを認証取得している企業又は認証取得しようとする中小企業を対象として、維持推進に必要なI S O内部監査員の育成（受益者負担有り）を行った。

（計 画） ISO9001・14001 2コース（各2日間）、受講者 20名／コース

（実 績）

開催日	研修名	開催場所	受講者
R元. 10. 3～4	ISO 9001 内部監査員養成講座	産業経済会館	29社 40名
R元. 10. 15～16	ISO14001 内部監査員養成講座		21社 28名

（4）地域中小企業支援センター支援事業

地域中小企業支援センター（17ヶ所）に経営革新計画作成に対する指導・支援、経営革新計画遂行状況を把握するためのフォローアップ調査を委託した。

委託する支援センター	承認件数	相談件数
下田商工会議所	2件	27件
伊東商工会議所	3件	16件
熱海商工会議所	2件	7件
三島商工会議所	15件	23件
沼津商工会議所	11件	16件
富士宮商工会議所	35件	246件
富士商工会議所	24件	96件
静岡商工会議所	52件	125件
焼津商工会議所	2件	4件
藤枝商工会議所	4件	91件
島田商工会議所	2件	43件
掛川商工会議所	2件	119件
袋井商工会議所	12件	110件
磐田商工会議所	5件	68件
浜松商工会議所	43件	77件
静岡県商工会連合会	127件	124件
静岡県中小企業団体中央会	56件	308件
計	397件	1,500件

2 下請振興等事業

事業費 65,064,116 円

県内中小企業への受注拡大を図るため、商談会等による販路開拓機会の提供を行った。

（1）下請振興事業

①支援体制整備事業

ア 支援体制整備円滑化事業

下請取引に係わる企業データベース管理のため、企業カルテシステム（セールスフォース）を活用し、受注企業の検索、新規登録企業の入力、各種商談会・展示会の開催周知等を行った。

イ 支援機関等連携促進事業・支援担当者能力開発事業

全国またはブロック単位の会議及び研修会へ参加した。

○公正取引委員会中部事務所との会議

○下請かけこみ寺相談員等研修会

○関東ブロック中小企業支援機関連絡協議会担当者会議

○下請かけこみ寺事業に係る関東ブロック情報連絡会議

○下請かけこみ寺事業（取引条件改善業務）に係る情報連絡会議

②窓口相談事業

ア 下請取引に係る苦情相談

- ・電話等による法律相談（職員回答）にて助言を行った。

下請法関係		下請法以外	
受領拒否	0 件	債権回収	42 件
支払遅延	3 件	契約・取引	89 件
代金減額	3 件	損害賠償	8 件
返品	0 件	会社経営	0 件
買ったたき	6 件	その他	43 件
その他	11 件		
計	23 件	計	182 件

イ 顧問弁護士による法律相談

- ・弁護士による相談（相談日：原則毎月第2月曜日、年12回実施）

相談内容	件数
債権回収	7 件
契約・取引	4 件
損害賠償	5 件
会社経営	0 件
その他	5 件
計	21 件

③取引あっせん事業

ア 受発注企業の情報提供事業

○下請取引あっせん集計一覧表

年 度		平成30年度	令和元年度
項 目	登 録 企 業 数		
	発注企業	762	762
	受注企業	2,885	2,890
発注申し出件数		119	93
受注申し出件数		71	79
あっせん紹介件数		360	271
あっせん 紹介結果	成 立	62	60
	不成立	52	21
	折衝中	974	1,164
契約成立当初受注金額		63,807千円	41,196千円
発注開拓企業件数		93	99

※下請企業の受注量確保のため、県内外の大手・中堅企業99社（専門調査員巡回64社を含む）に対し巡回による発注開拓を行い、93件の新規発注案件を開拓した。

○情報の提供

静岡新聞、民間情報機関誌等により、受・発注情報を広く提供した。

○専門調査員による受発注企業情報の収集

発注企業情報収集専門調査員（2名）により、受・発注登録企業を巡回し、近況を把握すると共に、各種の相談に応じたほか、発注案件の掘り起こしを行った。また、発注企業64社、受注企業183社を訪問し、33件の発注案件を掘り起こした。

イ 商談会等の開催事業

県内中小企業の取引拡大と販路開拓を支援するため、以下の事業を実施した。

○受発注企業合同商談会（名古屋会場は、長野県・山梨県との3県合同で実施）

開催 年月日	開催場所	参加企業		商談 件数	商談 成立 件数	商談 成立 金額	今後 発注 予定	見知り取 り交わす	工場見学 済・予定
		発注 企業	受注 企業						
R 元. 9. 19	名古屋市	69 社	58 社	182 件	16 件	5,606 千円	-	-	-

R2. 2. 6	富士市	21 社	96 社	184 件	令和2年8月に調査実施予定
----------	-----	------	------	-------	---------------

<30 年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展社数	調査時期	成立件数	成立金額
受発注企業 合同商談会	H30. 11. 9	富士市	発注 26 社 受注 72 社	1 年後	9 件	5,049 千円
	H31. 2. 15	浜松市	発注 19 社 受注 61 社	1 年後	9 件	2,459 千円

○展示会出展支援

新たな販路開拓を積極的に行う中小企業を支援するため、大規模な集客が見込まれる首都圏の専門展示会に静岡県ブースとして共同出展し、販路開拓を支援した。

開催期日	開催場所	展示会名	出展社数	成立件数	成立金額
R2. 2. 26 ～ 2. 28	幕張メッセ	第 24 回 機械要素技術展	16 社	令和 2 年 8 月に調査実施予定	
■主催：リード エグジビション ジャパン(株) ■来場者数：10,664 名 ■展示会総出展社数：2,030 社					

<30 年度事業の成果>

事業名	開催期日	開催場所	出展社数	調査時期	成立件数	成立金額
第 22 回 機械要素技術展	H30. 6. 20 ～ 6. 22	東京ビッグサイト	16 社	1 年後	26 件	31,114 千円

○特定発注企業個別商談会

発注案件を持つ特定企業 1 社とのマッチングを目的に、複数の県内中小企業が個別面談を行う商談会を開催した。

【第 1 回】

開催期日	参加企業	
	発注企業	受注企業
R 元. 8. 27、R 元. 9. 18	(株)エーエス (東京都墨田区)	4 社

【第 2 回】

開催期日	参加企業	
	発注企業	受注企業
R 元. 11. 8	村田機械(株) 犬山事業所 (愛知県犬山市)	2 社

【第 3 回】

開催期日	参加企業	
	発注企業	受注企業
R 元. 12. 11、R 元. 12. 12	高機電器工業(株) 富山工場 (富山県魚津市)	6 社

ウ 発注企業現況調査

静岡県が県内発注企業 300 社に実施した「発注企業現況調査」の結果に基づき、発注案件「あり」または「検討中」と回答のあった 50 社のうち、16 社に対し発注開拓訪問を行った。

エ 下請取引適正化講習会の開催事業

下請取引の適正化を推進するため、「下請代金支払遅延等防止法」等の内容について講習会を開催した。

【第 1 回基礎編】

回数	開催日	会場	講師	参加人数
1	R 元. 6. 7	グランドホテル浜松 (浜松市)	元下請代金検査官 渡邊 裕芳 氏	75 社 194 名
2	R 元. 6. 12	静岡県産業経済会館 (静岡市)		55 社 115 名
3	R 元. 6. 14	富士商工会議所 (富士市)		51 社 110 名
計				181 社 419 名

【第2回基礎編】

回数	開催日	会場	講師	参加人数
1	R 元. 10. 11	グランドホテル浜松 (浜松市)	公正取引委員会 金山 尚人 氏 林 伸明 氏 猪八重 馨 氏	52 社 116 名
2	R 元. 10. 18	富士商工会議所 (富士市)		28 社 70 名
3	R 元. 10. 23	静岡県産業経済会館 (静岡市)		28 社 67 名
計				108 社 253 名

【応用編】

回数	開催日	会場	講師	参加人数
1	R 元. 12. 13	静岡県産業経済会館 (静岡市)	公正取引委員会 山下 英照 氏 金山 尚人 氏	36 社 76 名

(2)情報支援事業

①支援体制円滑化事業

ア 情報機器の整備及び情報収集・提供

ホームページの活用による情報提供とともに、各種施策についてメールマガジンの発行、相談窓口において経営資料の提供・閲覧・視聴覚教材（ビデオ）の貸出等を行うほか、所内のネットワーク機器を整備した。

- ・ホームページへのアクセス件数 62,453 件
- ・メールマガジンの発行 24 回（月 2 回） 延べ 56,093 人（2,337 人／回）
- ・ビデオ・DVD等貸出 48 件 189 本

イ 「公的融資・助成金等の手引き」の作成・配布 900 部

県・市町・支援機関・政府系金融機関の公的融資・助成金等の情報を収集し、手引きを作成・配布。

②窓口等相談事業

中小企業者等からの経営資源に係る情報相談等に対応するため、相談窓口情報相談員を配置して情報資料の閲覧、視聴覚ビデオの貸出、インターネット等を活用した検索サービスを行った。

また、静岡県中小企業診断士協会の支援を受け、毎週水曜日に相談員を配置し、創業や経営相談に応じた。

○ 窓口相談件数

(相談内容)

(単位：件)

取引 相談	経営 全般	資金 調達	マケ ーティング	法律・ 労務・ 税務	技術	ビジネ スプラン	事業提 携・会社 設立	省エネ・ ISO	特許	その他	合計
435	81	0	25	229	137	6	3	0	12	1,316	2,244

3 静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業

事業費 20,064,256 円

現場改善による生産性向上によって県内中小企業・小規模事業者の付加価値の増大を促進することを目的に、（一社）ものづくり改善ネットワークと提携し、県内産業支援機関コーディネーターや企業現場管理者（OB含む）等を対象に、現場における経営改善活動（品質向上、コスト低減、納期短縮等）をアドバイスできるインストラクターを養成することを目的とした「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を実施した。

(1)静岡ものづくり革新インストラクタースクール実施事業

「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」の企画・運営に係る人材の配置、開講に向けた準備及びインストラクター派遣に向けた準備等を実施した。

項目	内容
a スクールの企画・運営に係る人材の配置	・スクール校長の配置 ・スクール校長を補佐する事務局職員の配置

b スクールの開講に向けた準備等	・一般社団法人ものづくり改善ネットワークとのフォローアップ契約等 ・「スマートものづくり応援隊（国庫補助）」公募事務 ・スクール実施計画、実施要領の作成 ・講師の選定及び講師との連絡調整 ・実習受け入れ企業の選定及び現場実習に対する連絡調整 ・スクール事業及び現場派遣事業に係る広報活動
------------------	--

(2)カイゼン指導者育成事業

現場改善による生産性向上によって県内中小企業の付加価値の増大を促進することを目的に「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」を開講し、現場における経営改善活動（品質向上・コスト低減・納期短縮等）を指導できる人材を養成した。

○「静岡ものづくり革新インストラクタースクール」の開講

開講期間：R元. 8. 30～11. 22 全18回

受講者数：24名（現役22名、OB1名、CD1名）

共 催：浜松商工会議所、磐田商工会議所、袋井商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構

【座学】

場 所：浜松いわた信用金庫板屋町支店

内 容：東京大学大学院 藤本隆宏教授の「生産マネジメント理論」を基礎に「良い設計の良い流れ」づくりを目指し、現場改善手法や現場管理手法等の理論を習得した。

回数	日 程	講師	内 容	
1	R元. 8. 30	國方	開講式及びガイダンス	講義スケジュールの説明と注意事項
			ものづくりの基礎概念	ものづくりとは何か、カリキュラムを一貫する考え方
			生産性と競争力	生産性向上、各種生産指標、企業競争力の構成要素と向上への取組
2	R元. 9. 6	伊藤	現場改善事例	課題抽出、対策実施、効果測定までの藤本流プロセスの改善事例
			職場のムダを排除する	7つのムダ、改善の切り口
			生産方式演習	1個流しプロセスの演習
3	R元. 9. 13	成沢	VSMの基礎	VSMの解説、VSMでの現場の見方
			VSM作成演習	現状マップの描き方
4	R元. 9. 20	伊藤	IE	IE概論（工程・作業・動作・稼働分析）
			IE改善演習	見える化、コイン落としゲームによる問題把握、解決までの手順の体験
5	R元. 9. 27	雨宮	コミュニケーションの進め方	良好なコミュニケーションの取り方
			リーダーシップ	人を動かす質問・聴く・説得の技術
			プレゼンテーションのコツ	プレゼンテーションスキル体験学習
6	R元. 10. 4	國方	グループ発表、実習の取組方	グループ演習、実習の着眼点・注意点
			改善活動と原価管理	原価の仕組み、良い流れを導く原価低減の方法
			適切な在庫管理	在庫の功罪、良い流れを阻害する過剰在庫の回避策
7	R元. 10. 11	濱松	5S・5定	現場改善手法の原理・原則
			設備管理	設備導入・運用・保全・廃却
			良い流れを作る品質管理	不良を作らない品質管理
8	R元. 10. 18	山本	I o T、A I 導入事例	生産性向上に必要なI o T、A I 導入事例
			良い流れを作る生産計画	良い流れを実現する生産管理と工程管理を生産形態別に考える
			良い流れを作る設備レイアウト	良い流れを作るための工場レイアウト
9	R元. 10. 18	仲田	現場改善実習の進め方	具体的進め方、帳票類の説明
			現場改善の定石	改善手段の具体的事例紹介、演習
			現場改善の定石演習	改善模擬演習

【現場実習・成果発表】

場 所：県西部の製造業4社（現場実習）

浜松いわた信用金庫板屋町支店（R元. 11. 22 成果発表会）

内 容：受講者を4グループに分け、ものづくり中小企業4社にて、工程分析や作業分析を行うことで、現場改善手法を体得する。また、グループワークを通じ、指導者や現場リーダーに求められる指導力、リーダーシップを習得した。

回数	日 程	講 師	内 容
9	R元. 10. 24	仲田、伊藤、濱松、山本	経営者との打合せ、現場の確認、全体計画、目標の策定
10	R元. 10. 25		現場改善実習 （「モノと情報の流れ図」の作成、ビデオ動作解析、現場担当者へのヒアリング、レイアウトの見直し、改善の実践 等）
11	R元. 10. 31		
12	R元. 11. 1		
13	R元. 11. 7		
14	R元. 11. 8		
15	R元. 11. 14		
16	R元. 11. 15		
17	R元. 11. 21		チーム改善提案（実習先企業）
18	R元. 11. 22		チーム改善発表（浜松いわた信用金庫板屋町支店）

講 義	現場実習	修了式
		

○ 改善成果

企業	改善実施項目	想定される改善効果
A社（食品製造機械製造）	生産効率の改善	カンバン方式の導入によりリードタイムを1/3
B社（ウレタン関連）	生産工数の削減、不良の低減	2工程で2名の人員削減
C社（楽器部品）	生産管理方法の改善、納期遅延の改善	ピストン工程の作業時間削減
D社（自動車部品板金）	生産指示の改善、在庫量の把握	在庫削減7.5日減

○ インストラクター現場派遣

・実施期間 R元. 6. 13～R2. 2. 28

・派遣回数 延べ27回（延べ5社）

企業	所在地	事業内容	派遣回数	実施内容・成果
A社	富士宮市	段ボール加工	7回	実施内容：生産工程の改善（段取り時間の改善、運搬回数の見直し、材料置き場の整理） 成果：247.81時間（360,564円）/月
B社	焼津市	水産食料品加工販売	7回	実施内容：生産性の向上（レイアウト変更、作業分析等） 成果：30%の生産性向上
C社	牧之原市	鋼板の加工	5回	実施内容：在庫削減、動作分析によるムダ取り 成果：在庫削減率16%
D社	富士宮市	パイプ加工	5回	実施内容：5S5定、従業員教育 成果：プレス加工における5S5定の実践
E社	牧之原市	工作機械部品製造	3回	実施内容：生産性向上（生産能力、出荷状況の把握） 成果：生産能力、出荷状況の整理、分析手法の習得

4 中小企業IoT活用促進事業

事業費 15,415,180 円

静岡県IoT活用研究会の運營業務を受託し、県内中小企業におけるIoTの利活用を促進することにより、新たな企業連携・産学官連携の構築及び県内企業の基盤技術の強化、経営力の向上を図った。

(1) 静岡県 I o T 活用研究会

会員数：276 社・団体（企業 225、産業支援機関 21、大学・学校 6、金融機関 15、市町 9）

① テーマ別研究活動事業

IoT 実践セミナー ① 沼津グループ	R 元. 7. 23 R 元. 8. 20	参加企業の「課題(困りごと)」をグループ討論し、現状～あるべき姿を描き IT・IoT により、どう改善できるか具体的実践方法を取得。 《沼津 G》ワークショップ 3 社 4 名参加
② 静岡グループ	R 元. 8. 27 R 元. 9. 24	《静岡 G》ワークショップ 2 社 3 名参加
分科会活動 企業間データ連携 生産効率化	随時開催	「困りごと」～「現状(AS-IS)～「あるべき姿(To-Be)」～簡易実証実験により IT・IoT 化による費用対効果検討までをワークショップ形式により支援。 ① B 社（沼津市）印刷業 ☆「IVI 地域アワード 2019」奨励賞受賞☆ 見積り情報のデータベース化による営業担当者の負担軽減 ～見積書から仕様書作成の自動化による作業効率・精度向上～ ワークショップ→7/10、8/7、9/11、10/15、12/9、2/3 次年度は、実証実験の効果検証予定 ② D 社(静岡市清水区) 基板製造業 製造ライントラブル等による技術員呼出し実証実験による効果検証 ワークショップ→4. 26、8. 19

② I o T 活用事例普及活動

工場見学会	R 元. 11. 29 ～随時	○静岡県工業技術研究所内「静岡県 IoT 推進ラボ」の見学 設備稼働状況可視化、稼働監視・予知保全等の IoT 関連機器の展示。 8 企業展示。
ビジネスマッチング ① 産業振興フェア in い わた内 「IT・IoT・AI 応援ツ ール展示コーナー」の 設置	磐田市 R 元. 11. 8 ～9	「困りごと」を解決する、低コストで簡単に導入できる IoT ツールを 展示。 会場：アミューズ豊田（磐田市上新屋 304） 来場者：5,000 名 出展規模(全体)：180 社、IoT コーナー 12 社・団体 商談実績：見積依頼 1 件、後日訪問約束 13 件、名刺交換・説明 260 件
② 富士山麓産官学金 連携フォーラム内 「IT・IoT・AI 応援ツ ール展示コーナー」の 設置	沼津市 R 元. 11. 14	会場：プラサヴェルデ 多目的ホール（沼津市大手町 1-1-4） 来場者：600 名 出展規模(全体)：90 社・団体 IoT コーナー 12 社・団体 商談実績：見積依頼 2 件、後日訪問約束 17 件、名刺交換・説明 106 件
セミナー開催	R 元. 11. 21 静岡市 R2. 2. 21 沼津市	○三菱フレッシュクラブ IoT セミナー 14 名参加 講演「中小企業支援事例紹介」 講師 ㈱叢雲堂 代表取締役 池谷隆典 ○沼津明協 改善事例発表会 29 社 50 名 内容 静岡県 IoT 研究会からの報告・案内 沼津明協 会員企業の改善事例発表
相談会	随時	○電話にて随時相談対応 ○静岡県よろず支援拠点との連携(IoT 相談に同席) ○展示会相談コーナー設置し来場者の相談、出展企業への案内を行っ た。 ①令和元年 11 月 8 日～9 日 産業振興フェア in いわた内「IT・IoT・AI 応援ツール展示コーナ ー」 ②令和元年 11 月 14 日 富士山麓産官学金連携フォーラム内「IT・IoT・AI 応援ツール展示コー ナー」

専門家派遣による 相談対応	随時	「静岡県 IoT 支援専門員」制度を設け、相談企業へ訪問。相談対応した。 専門員派遣→5回 R 元. 12. 10、R 元. 12. 11、R 元. 12. 20、R 元. 12. 27、 R2. 3. 5 ・R 元. 12. 10 設備保守の IoT 化について ・R 元. 12. 11 画像を使ったセリについて ・R 元. 12. 20、R 元. 12. 27 養殖池の見える化について ・R2. 3. 4 ハウス栽培の IT・IoT 化について
中小機構 「IT 経営ドック」		中小企業基盤整備機構の専門家との3回の面談を通して、経営課題・ 業務課題を整理・見える化し、相談企業にあった IT 活用の可能性を 無料で提案 活用企業1社 支援日 R2. 2. 12(課題の抽出)、R2. 3. 13(現状把握) 次回は4月以降→あるべき姿のためのツール紹介

③産学連携促進・活用技術向上事業

静岡県畜産技術研究所	○牛の体重測定のアプリ開発について、対応可能な企業を紹介 →令和2年度から開発開始予定
静岡県水産課	○静岡県水産技術研究所 富士養鱒場の鱒の動きの見える化システムについて専門 家を紹介、実証実験に協力 ○伊豆漁港仁科支所にて映像による競りの実証実験について専門家を紹介、実験に 協力

(2)ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー事業

AI や ICT などの先端技術の急速な発展に対応するため、ICT 人材育成プロデューサー（1 名）を配置し、ICT 人材育成に関する施策の立案・調査や、ICT に関する企業の技術力向上を図った。

①配置人数 1 名

②活動日数 136 日（4 月～3 月末）

③活動内容

ア 戦略の実施に向けた全体像の整理

イ トップレベル人材育成施策の支援

・スタートアップ企業候補の紹介—SEQSENSE 株式会社、訪問説明（6/10）

・定例会議への出席 ・開催後アンケート分析 ・基調講演サマリー資料作成 等

ウ 中核的人材・一般のビジネスパーソンを対象とした人材育成施策の検討及び実施支援

◇ICT 入門セミナーの企画

・R 元. 7. 24 14:00-16:00 Tech Beat Shizuoka 会場内にて開催。

◇静岡大学連携 データ分析講座の企画

◇相談者育成講座の企画・実施支援

◇ICT 人材育成事業用 WEB サイトの作成支援

エ 次世代人材育成施策の検討及び実施支援

◇県内のプログラミング教育の現状調査

◇プログラミングコンテストの実施支援

オ 来年度以降の ICT 人材育成施策に関する調査

今年度実施する施策を踏まえて、来年以降へ反映すべき点を分析する。

◇中核的人材・一般のビジネスパーソン向け施策のニーズ調査

・今年度開催した以下のセミナー等への参加者アンケートを分析

—ICT 入門セミナー（TECH BEAT Shizuoka 内）

—静大連携 データ分析講座

―県大連携 ICT 関連 4 講座

―ICT 相談員育成研修

◇次世代人材向け施策のニーズ調査

- ・プログラミングコンテスト最終審査会出席者へアンケート結果の分析

◇来年度事業の企画支援

- ・今年度の結果を踏まえて、静大連携データ分析講座、県立大学連携講座、沼津高専連携 AI 講座、ジュニアプロコン等の企画を支援

カ 県内外の ICT 関連動向の情報収集及びにネットワーキング

◇製造業対象「ICT およびロボットの活用に関するアンケート調査」の実施

- ・2018 年度に実施したアンケート調査をベースに、ロボットに関する設問などを追加し、10 月～11 月にアンケート調査を実施。
- ・約 800 社へアンケートを配布し、276 件の回答を回収。

◇中小企業への AI・IoT 導入に関する調査

- ・AI・IoT を導入済み企業や検討中の企業へのヒアリングを通じて、中小企業が AI・IoT に 対するニーズと、活用促進のための方策を検討。
- ・総務省「ワイヤレス IoT 分野における利活用者の育成方策に関する調査検討」有識者会合に、構成員として参加し、意見交換（2～3 月）。

◇経済産業省・NEDO「AI Quest」事業への協力

◇県内外の企業・団体との意見交換、情報収集

5 販売戦略構築支援事業

事業費 3,780,000 円

(1)販売戦略サポート委員会

販路開拓・拡大に課題を抱える県内中小企業 11 社に対し、外部専門家が具体的にアドバイスを行う委員会を 6 回開催した。

回	開催日	出席企業	製品等	アドバイザー出席数
1	R 元. 5. 21(火)	信建工業(株) (静岡市)	ドッグラン関連製品	5 名
		大日工業(株) (静岡市)	光る木の手すり	
2	R 元. 6. 27(木)	村田工業(株) (静岡市)	液体サイクロン	5 名
		(株)ANCHOR BIRDS (焼津市)	アンカーボルト	
3	R 元. 10. 25(金)	安間製茶 (袋井市)	煎茶、白葉茶	5 名
		(株)ペーパークラフトイトウ (浜松市)	カタログ、パンフレット	
4	R 元. 12. 23(月)	(株)モア・リビング (袋井市)	三角テーブル、畳ユニット	5 名
5	R2. 1. 29(水)	グローバル・リンクス・テクノロジー(株) (浜松市)	全自動実験動物飼育装置	5 名

		(有)鈴精機 (周智郡森町)	磨きレス加工	
6	R2. 3. 23(月)	(株)応用技術研究所 (湖西市)	メタルジュエリー	5名
		(有)東洋音響 (静岡市)	オルゴール	

(2)技術ニーズ説明会

①キューピー(株) (開催日：R元. 10. 28(月)、会場：静岡県産業経済会館)

出席者数	10社1団体、17名
説明会後の提案	【提案企業】(株)ビートセンシング 【提案内容】近赤外線センサー等の提供

②大阪ガスグループ (開催日：R元. 12. 10(火)、会場：静岡県産業経済会館)

出席者数	19社22名
説明会後の提案	5社9提案をエントリー。うち3社5提案について一次面談実施。 (会場：1/29 大阪ガス、2/20 静岡県産業経済会館) 【提案企業及び提案内容】 ○(有)エヌ・エス・ジェイ (2提案) 現場作業用ドーム、熱中症対策グッズ ○(株)アキヤマエヌシーテープセンター (1提案) 2D図面からの3D図面化及び3Dプリンタ出力 ○(株)アイズ・ソフトウェア (2提案) ネット申請時にID・パスワード・メルアドを発行するシステム、電気・ガス・サービスの使用量及び金額の見える化システム

6 事業承継支援事業

事業費 19,793,095 円

(1)事業承継ネットワーク運営事業

中小企業の円滑な事業承継の推進を目的とした支援体制を整備するため、静岡県、市町、金融機関、支援機関等で構成される事業承継ネットワークを構築し、事業承継診断を促進したほか、各構成員との連携強化のための全体会議、構成員職員の事業承継支援スキル向上のための研修会を開催した。

① ネットワーク構成員

種別	県市町	金融機関	商工会議所 ・商工会	支援機関	士業団体	その他	合計
機関数	36 機関	19 機関	17 機関	9 機関	6 機関	2 機関	89 機関

② 事業承継診断・事業承継計画策定支援の促進

事業承継診断実施件数	6,700 件 (3月末) ※日本政策金融公庫の件数を除く
事業承継計画策定支援件数	818 件 (3月末)

③ 全体会議の開催

開催日	R元. 8. 26
会 場	クーポール会館 5階駿河
内 容	○報告等 ・来年度における国の事業承継施策について 関東経済産業局 中小企業金融課 経営承継専門官 木村 悠紀 氏 ・静岡県の事業承継支援について 静岡県 経済産業部 商工業局 経営支援課長 藤元 省悟 氏 ・静岡県事業承継ネットワーク事業の昨年度実績及び今期計画について 静岡県事業承継ネットワーク 事務局長 小長谷 宏明 ・静岡県プッシュ型事業承継支援高度化事業の支援状況について

	(公財)静岡県産業振興財団 承継コーディネーター 山崎 真嗣 ・静岡県事業引継ぎ支援センター事業の支援状況について 静岡県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 清水 至亮 氏 ○トークセッション ・モデレーター 産業財団 承継コーディネーター 山崎 真嗣 ・パネリスト (株)アシウエル 代表取締役 水口 徹 氏 シューズハウスオオイシ 元代表 大石 良則 氏 三島商工会議所 経営指導員 宇水 淳 氏 函南町商工会 経営指導員 前島 浩樹 氏
参加人数	128 名

④ 事業承継支援スキル向上研修会の開催

	開催日	会場	内容・講師	人数
1	R 元. 6. 10	アクト浜松 研修交流センター	事業承継診断に必要な知識と話法 静岡県事業引継ぎ支援センター 統括責任者 清水 亮 氏	10 人
2	R 元. 6. 13	沼津商工会議所		51 人
3	R 元. 6. 18	静岡県経済産業会館		37 人
■参加者評価：(1) 4.8 点 (2) 4.4 点 (3) 4.5 点 (5 点満点・平均点)				
4	R 元. 11. 20	アゴラ沼津	必ず直面する世代交代の備えについて 東京中小企業投資育成(株) 公認会計士 中野 威人 氏 事業承継計画策定ポイント解説 産業振興 承継コーディネーター 山崎 真嗣 事業承継の取組事例 各地区 ブロックコーディネーター 天竜商工会の事業承継支援の取組み (浜松会場のみ) 天竜商工会 補助員 松川 淳子 氏	28 人
5	R 元. 12. 10	アゴラ浜松		28 人
6	R 元. 12. 18	レイアップ御幸町ビル		28 人
■参加者評価：(4) 4.5 点 (5) 4.5 点 (6) 4.1 点 (5 点満点・平均点)				
7	R2. 2. 26	ホテルセンチュリー 静岡	事業承継時の経営者保証解除に向けた支援スキーム 産業財団 承継コーディネーター 山崎 真嗣 天竜商工会の事業承継支援の取組み 天竜商工会 経営支援員 松川 淳子 氏 掘り起しに向けたヒアリング手法・ポイント解説 (独)中小企業基盤機構関東本部 事業承継コーディネーター 富永 治 氏 事業承継の現状と事業承継ネットワークの役割 プッシュ型事業承継支援高度化事業全国事務局 事業承継サブマネージャー 坂本 慎一郎 氏	36 人
■参加者評価：4.3 点 (5 点満点・平均点)				

(2) プッシュ型事業承継支援高度化事業

中小企業庁委託事業「平成 30 年度補正予算プッシュ型事業承継支援高度化事業」の地域事務局を静岡商工会議所と共同で受託し、親族内承継及び従業員等承継に関する支援ニーズに対して、承継コーディネーター、ブロックコーディネーター、専門家等が連携して支援した。

① 相談会の開催

開催日数	520.5 日
会 場	各商工会議所・商工会
相 談 員	ブロックコーディネーター

② 相談・成約件数

項目	件数	内容 (内訳)
----	----	---------

相談件数 (相談回数)	392件 (587件)	【種 別】 ・親族内承継：253件 ・従業員承継：27件 ・その他：112件 【地区別】 ・東部、伊豆：126件 ・中部：117件 ・西部：149件	【業種別】 ・建設関連：62件 ・製造業：93件 ・小売業：55件 ・卸売業：26件 ・運輸業：8件 ・宿泊・飲食業：53件 ・サービス業：69件 ・その他：26件
成約件数	273件	・事業承継計画策定：207件 ・代表者変更：54件 ・株式移転：8件 ・その他（補助金等）：4件	
専門家派遣	10件		

③ ベンチャー型事業承継セミナーの開催

事業承継を契機に新規事業、業態変換、新市場参入など新たな領域に挑戦するベンチャー型事業承継を促進するため、セミナーを開催した。

名 称	ベンチャー型事業承継セミナー 「ある日、社長になるということ ～事業後継者の経験から学ぶ～」
開 催 日	R 元. 11. 14
会 場	中島屋グランドホテル 4階オーキッド
内 容	○ベンチャー型事業承継とは (公財)静岡県産業振興財団 承継コーディネーター 山崎 眞嗣 ○基調講演 「会社を継ぐ」 (株)山本海苔店 専務取締役 山本 貴大 氏 ○パネルディスカッション ・モデレーター 静岡県立大学経営情報学部 准教授 落合 康裕 氏 ・パネリスト 大信水産(株) 代表取締役社長 山本 一博 氏 (株)ピーエーシー 代表取締役社長 柴山 貴伸 氏 静岡県商工会議所青年部連合会 会長 鈴木 将孝 氏 (株)山本海苔店 専務取締役 山本 貴大 氏
参加人数	60名
■参加者評価 ・良かった 88.5% ・やや良かった 7.7% ・普通 3.8% ・やや悪かった 0% ・悪かった 0%	

7 地域経済牽引企業創出支援事業

事業費 2,172,174 円

地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、高い経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業計画」の作成及び承認を支援するため、県内中小企業者に対し、専門家（中小企業診断士、税理士等）の派遣（8件）を実施した。財団が直接作成支援を行った先（4件）と合わせ、合計12件の作成及び申請を支援した。

・専門家1名×19回（派遣先数8社・1/3派遣先負担）

<派遣先>

NO	企業名	所在地
1	(有)岩倉溶接工業所	島田市
2	伊豆川飼料(株)	静岡市
3	丸善製茶(株)	静岡市
4	進桜電機(株)	長泉町
5	(株)日本ベルト工業	沼津市
6	(株)いちまる	焼津市
7	(株)伊藤製作所	富士宮市
8	アドバンス・コンポジット(株)	富士市

<財団による直接支援先>

NO	企業名	所在地
1	(株)フクダサインボード	浜松市

2	(株)季咲亭	静岡市
3	(株)富士根産業	沼津市
4	(株)グリーン・ビッグウェル	三島市

8 高度化資金貸付診断等事業

事業費 19,015,665 円

高度化事業は、中小企業者が共同して経営基盤の強化を図るために工場団地や共同店舗等を建設する事業に対して、県が長期かつ低利な資金を貸し付けるとともに、貸付前、貸付後の経営診断・助言等の実施により、支援する制度である。

静岡県からの委託により、経営診断・助言及び財務分析を実施した。

○ 高度化資金貸付実績

・令和元年度高度化資金貸付条件（通常）	
貸付期間：20年間（3年間据置）	
貸付利率：0.45%	
貸付割合：貸付対象経費の80%以内	
貸付先：事業協同組合、街づくり会社（三セク）等	
・令和元年度高度化資金貸付額（県商工金融課所管）：	1,274千円（R2.1.31現在）
・令和元年度末高度化資金貸付残高（県商工金融課所管）：	8,989,243千円（R2.1.31現在）

（1）高度化資金貸付等に係る診断実績

診断区分	内容	計画件数	実施件数
新規貸付診断	・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断	9	5
条件変更診断	・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断	6	6
フォローアップ診断	・事後助言（フォローアップ）	15	17
対象診断	・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断	2	3
合 計		32	31

（2）財務分析の実績

区分	計画件数	実施件数	内容
財務分析	50	59	・高度化団地等へ進出している企業の財務分析

（3）高度化事業調整会議

受託業務を円滑かつ適正に遂行するため、関係機関（県経営支援課、商工金融課、静岡県中小企業団体中央会）と診断案件に係る情報交換を行った。（開催回数：3回）

9 経営革新計画支援事業

事業費 28,772,233 円

県から受託して、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談・受付及び調査等を行った。さらに県内中小企業の経営革新の促進を図るため、地域中小企業支援センター等と連携して普及・啓発や相談助言等を行なうとともに経営革新計画事例集を作成した。

項目	実施内容	件数等
出張、窓口等個別相談の状況	相談件数	335 件 (224 件)
専門家派遣の状況	派遣件数	26 社 107 件 (22 社 106 件)
経営革新計画申請の状況	申請受付件数	127 件 (76 件)
経営革新計画承認の状況	承認件数	新規 126 件、変更 1 件 計 127 件 (68 件)
地域中小企業支援センター等巡回指導の状況	巡回回数	100 回 (83 回)
経営革新計画事例集の作成	作成部数	3,000 部 (3,500 部)
フォローアップ調査の報告状況 (財団分)	報告件数	109 件 (119 件)
フォローアップ調査の報告状況 (全体)	報告件数	347 件 (361 件)
実施状況の報告状況 (財団分)	報告件数	127 件 (183 件)
実施状況の報告状況 (全体)	報告件数	483 件 (815 件)
補助金に係る申請書類の受付状況	作成支援、受付件数	新商品 59 件、販路 71 件、生産性 7 件 (新商品 67 件、販路 94 件、生産性 14 件)

(注) () 内はH30 年度の件数等

○経営革新計画事例集掲載企業(抜粋)

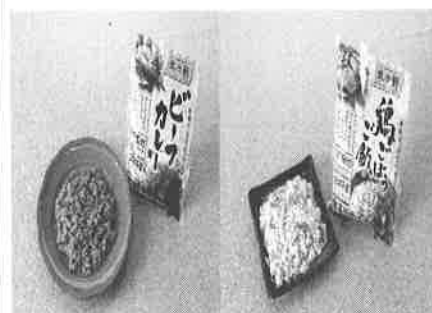
株式会社日翔工業(金属製品製造業) 【経営革新計画のテーマ】 立体形状物へのコーティングやグラデーション等によるデザイン表現が可能な3Dスパッタリング技術の開発と事業化 創業以来、スパッタリングに関する技術に力を入れてきた。スパッタリングとは、素材にダメージを与えず、低温で高融点金属をナノコーティングできる技術で、平面形状物の表面に限られていた。 そこで、立体形状にも対応可能なオリジナル装置を新たに開発し、これまで出来なかったサイズや形状、素材に対応できるようになった。この世界唯一の技術を活用し、チタンコーティングを施したガラスの販売を開始したところ、グッドデザインしずおか技術賞を受賞するなど、大きな反響となり、売上も好調である。ガラスへのスパッタリングによって、自社ブランド商品が確立できたと共に、技術力を広めるきっかけとなり、これまでの量産型の下請けだけでなく、高付加価値の個別注文が増え、経営改善につながっている。	 ・スパッタリング技術を活用して商品化したガラス
---	---

【経営革新計画のテーマ】

水の準備が不要なアルファ米非常食の開発及び販売

これまでアルファ米の非常食を食べるには、別で水の用意が必要となっていた。しかし、実際の災害発生時には水の調達に困難となることから、この度の経営革新ではアルファ米とカレー味、だし風味の専用スープを地元のレトルト業者と連携して開発を行い、同封された専用レトルトスープにより、別途水の用意を不要とした簡便なアルファ米商品を開発した。

東京の展示会「オフィス防災エキスポ」への出展を行い、県内外の防災関連の商社のほか、防災業界以外のアウトドア業界(山登り等)からも引き合いがあり、当初想定していなかった新規分野にも販路を得ることができた。同商品の開発後に別途アルファ米を開発し、「米々軒」としてシリーズ化を果たした。



・ビーフカレーと鳥ごぼうご飯

10 設備貸与事業

事業費 71,497,583 円

小規模企業者等(原則として従業員20人以下)及び創業者を対象として、設備を割賦販売及びリースすることにより、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、平成26年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権

	平成30年度末残		令和元年度末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	4件	9,855千円	1件	1,323千円
リース	4件	6,603千円	1件	2,109千円
計	8件	16,458千円	2件	3,432千円

(2) 延納・滞納債権(未収額)

	平成30年度末残		令和元年度末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	3件	19,745千円	2件	18,335千円
リース	1件	5,267千円	1件	4,757千円
計	4件	25,012千円	3件	23,092千円

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

(3) 損害賠償債権(契約解除案件)

項目		平成30年度末 不良債権残	令和元年度回収等				令和元年度末 不良債権残
			発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	6件	1件	0件	(2)件	3件	4件
	リース	7件	0件	1件	0件	3件	3件
	計	13件	1件	1件	(2)件	6件	7件
金額	割賦	70,518千円	973千円	0千円	2,408千円	30,114千円	38,969千円
	リース	38,133千円	0千円	783千円	0千円	15,615千円	21,735千円
	計	108,651千円	973千円	783千円	2,408千円	45,729千円	60,704千円

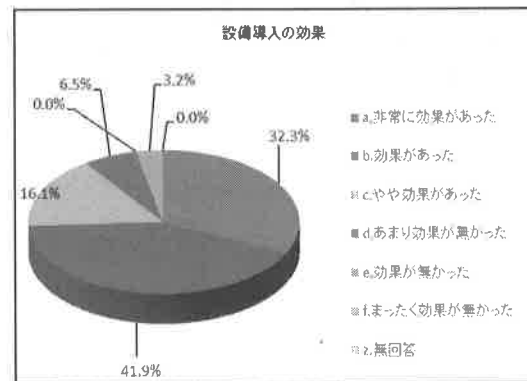
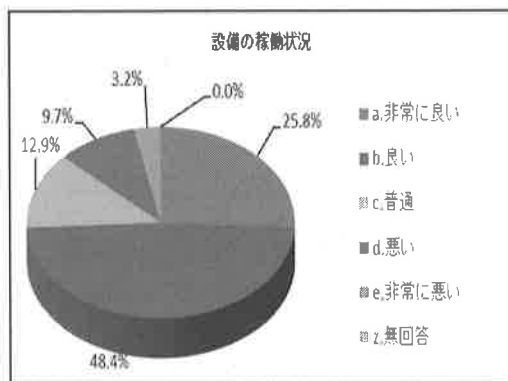
(4) 割賦未収金債権 (契約解除案件)

項目		平成 30 年度末 不良債権残	令和元年度回収等				令和元年度末 不良債権残
			発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	3 件	0 件	0 件	(3) 件	0 件	3 件
金額	割賦	704 千円	0 千円	0 千円	240 千円	0 千円	464 千円

(5) 設備貸与制度・設備資金貸付制度の事後調査

平成 19 年度～平成 26 年度に設備貸与制度・設備資金貸付制度を利用した企業のうち、41 企業について、書面による導入設備利用状況調査を実施した。

調査の結果 (回答率 75.6%)、設備の稼働状況が「非常に良い」「良い」と回答した企業は 73.3%と、全回答数の 3/4 に近くなっていた。また、導入効果として「非常に効果があった」「効果があった」「やや効果があった」と回答した企業は 90.3%で、事業目的の効果が得られている状況が見受けられた。



11 中小企業振興貸与事業

事業費 2,012,100 円

設備貸与事業の補完として、中規模中小企業者等の経営基盤の強化を促進することを目的として実施していたが、平成 15 年度より新規の貸与を中止したため、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 損害賠償債権 (契約解除案件)

項目		平成 30 年度末 不良債権残	令和元年度回収等				令和元年度末 不良債権残
			発生	回収完済	一部回収	償却	
件数		1 件	0 件	0 件	(1) 件	0 件	1 件
金額		3,769 千円	0 千円	0 千円	890 千円	0 千円	2,879 千円

12 設備資金貸付事業

事業費 5,388,079 円

小規模企業者等 (原則として従業員 20 人以下) 及び創業者を対象として、設備導入に係る資金の貸付により、小規模企業者等の経営基盤の強化促進を目的に事業を実施していたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を中止したため、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権 (償還金)

	平成 30 年度末残		令和元年度末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	78 件	242,734 千円	49 件	110,032 千円

(2) 延納・滞納債権（未収額）

	平成30年度末残		令和元年度末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	1件	20,829千円	0件	0千円

(3) 損害賠償債権（一括請求案件）

項目	平成30年度末 不良債権残	令和元年度回収等				平成30年度末 不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	損失補償	
件数	0件	1件	0件	(1)件	0件	1件
金額	0千円	20,829千円	0千円	600千円	0千円	20,228千円

公3 科学技術研究開発支援

事業費 212,021千円（95,672千円）

県内企業等が行う新技術・新製品開発等への支援、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチングや産学官交流促進等、県内産業の科学技術研究開発を支援する事業を行った。

1 産学官技術交流促進事業

事業費 31,575,983 円

技術コーディネーター(3名)が、大学、静岡県工業技術研究所、金融機関等と連携し、企業の新技術・新製品開発に係る技術ニーズと大学等における研究シーズや大手企業の技術シーズのマッチングを図るとともに、企業からの技術相談にも広く対応した。また、事業プロデューサーを配置し、シーズ・ニーズの掘り起こしからマッチング、その先の事業化に向け、企業の技術やニーズを活かした製品・サービスを事業化の観点で高め、広く流通させるための支援をした。

(1) 技術相談、マッチング支援等

項目	実績	
新成長産業分野の助成採択に対する支援	17 件	
中小企業の技術課題等に対する相談対応	312 件	
コーディネーターのスキルアップ事業	コーディネーター 1名 令和元年度 技術開発支援機関研修 ・主催 中部イノベネット（(公財)中部科学技術センター） ・開催日 令和元年9月25日（水） ・会場 ウィンクあいち 名古屋駅前イノベーションハブ ・内容 製造企業が多く集積する中部エリアを構成する愛知県、岐阜県、静岡県等のコーディネーターが集い、相互の技術情報交流やシーズ発表を行い、コーディネーターのスキルアップを図ることができた。	
＜知的財産活用研究会＞ 大手企業知的財産マッチング事業	○目的 大学、研究機関、大手企業が保有する知的財産等の技術シーズの県内中小企業への利用促進と新事業の創出を図る ○会員数 179 社（R2.3.31 現在） 大手企業知的財産マッチング ○知的財産マッチング in 浜松 開催日：R 元. 7. 18 会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター シーズ提供：(株)ダイセルグループ(株)、(株)キャンパスクリエイト 参加者：32 名 個別相談：4 件、5 件	

	○知的財産マッチング会（個別相談会） 開催日：R 元. 11. 14 会場：プラサヴェルデ 会議室 シーズ提供：焼津水産化学工業(株)、(株)アールクレイ 個別相談件数：5 件、6 件	
	○知的財産マッチング会 開催日：R2. 2. 25 会場：アクトシティ浜松 研修交流センター シーズ提供：パナソニック(株) (株)スワローインキュベート) 参加者：40 名 個別相談件数：8 件	
	○シーズ情報の提供 大学の研究シーズを提供（11 月）	
事業プロデュース事業	事業化事例：3 件 ・株式会社フクダサインボード（浜松市） 「(株)イトーキの開放特許技術（フック引掛けによる非接触給電）を活用したサインシステムの事業化」 ・株式会社丸源竹内組（浜松市） 「無機ナノ微粒子配合塗料による遮熱塗料 W01（トップライト、窓用）の事業」 ・ケーアイ工業株式会社（富士市） 「IoT 機能と重量測定による次世代型生ごみ処理機の事業化」	
大学連携による知的活用アイデアコンテスト	○知的財産を活用した大学連携（浜松信用金庫と静岡信用金庫と連携） ・(株)フクダサインボード（浜松市）、(株)サンケミカル（富士市）、(株)美浜工業（浜松市）の特許等を活用し大学生によるビジネスプラン作成と事業化に向けた中小企業とのマッチング支援 ・参加大学：静岡大学 1 チーム、静岡県立大学 2 チーム、静岡文化芸術大学 2 チーム、常葉大学 1 チーム ・静岡県大会：R 元. 11. 13（静岡信用金庫 研修センター） 最優秀賞：「ふりそーる FREE×SOLE」チーム柿ピー（静岡県立大学） 優秀賞：「広告付き自転車 Promo-rect」KK ラボ（静岡大学） 優秀賞：「もじもじサウンド」チームダッキー（静岡文化芸術大学） ・全国大会：R 元. 12. 14（機械振興会館） 優秀賞：チーム柿ピー	 

(2) 外国出願支援事業

中小企業等の戦略的な外国出願を促進するため、基礎となる出願（特許、実用新案、意匠、商標）と同内容の外国出願にかかる経費の一部を補助した。

	企業名	種別	交付確定額（円）
1	株式会社ヤスキ	特許	1,500,000
2	株式会社救命	特許	636,000
3	サウンドデザインラボ合同会社	特許	1,076,000
4	ペトロユーロアジア株式会社	特許	473,000
5	ペトロユーロアジア株式会社	特許	496,000
6	株式会社ニチワ	特許	975,000
7	株式会社デイトナ	意匠	284,000
8	株式会社ヤスキ	意匠	263,000

9	株式会社東洋機械製作所	商標	163,000
10	株式会社ティートリコ ※旧：ディティールズ	商標	180,000
11	株式会社パームス	商標	472,000
12	羽立工業株式会社	冒認対策商標	209,000
13	羽立工業株式会社	冒認対策商標	191,000
14	株式会社クラウンメロン	冒認対策商標	0
		計	6,918,000 円

2 地域ビジネス応援事業

事業費 7,122,223 円

地域発ビジネスの活性化を応援する目的で、県内中小企業者、特定非営利活動法人、創業者が行う、新たな事業の展開、新たな製品や役務の提供、新たな販路の開拓等に対して、また、産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援として助成金を交付した。

<助成実績>

(1) 助成事業

申請者	所在地	事業概要	確定額
(有)岩倉溶接工業所	島田市	自社製品「抗菌富士」の新商品開発と販路開拓	900 千円
植田産業(株)	富士市	紙バンド手芸を通じた地域貢献と顧客誘致のための施設改修事業	900 千円
(株)O t o n o	静岡市	タクシー向けインバウンド観光音声システムの販売	900 千円
スカイビーンズ	静岡市	HAHAHANO. LABO ー考えてないけど計算通りのプロジェクト	900 千円
プロダクトリング(株)	浜松市	香港で新たに開始した自動販売機を活用した輸出支援の広報事業	700 千円
ルモンド(有)	静岡市	ティーペアリングによる静岡茶の魅力発信と厨房作業の効率化	1,000 千円
		計	5,300 千円

(2) 産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援（販売戦略構築支援型）

申請者	所在地	事業概要	確定額
(株)トライ・カンパニー	沼津市	耳等への褥瘡発生を防止する枕の販路開拓	460 千円
(株)トマト	静岡市	入浴用ストレッチャー湯楽・トイレ用リフトさつきの販路拡大	500 千円
アールエフネットワーク(株)	浜松市	無線用測定器の拡販	318 千円

株ANCHOR BIRDS	焼津市	橋梁・トンネル技術展出展による新たな販路開拓	430 千円
		計	1,708 千円

(3) 産業財団の事業を利用した県内中小企業者のステップアップ支援（創業者成長支援型）

申請者	所在地	事業概要	確定額
株D-ZONE	沼津市	「ラバーディップ塗装とボディープリント」プロモーションの強化	64 千円
		計	64 千円

3 戦略的基盤技術高度化支援事業

事業費 170,974,657 円

事業管理機関として、技術開発を目指すものづくり中小企業が、当該支援策等を通じて技術の高度化を果たし、新たな需要を切り開くため、研究開発の運営管理等の支援をした。

①株式会社ハイタック（沼津市）

テーマ：「医療器具の国産化に貢献する極小径超深孔加工技術及び加工内面の品質保証技術の開発」
(3年目/3年間)

<これまでの成果>

深孔加工としてこれまでに類を見ない穴径D0.5mmφ×加工長L60mm（L/D=120）の加工を可能とする装置開発と加工技術が開発できた。また、これまで深孔の加工内面の面精度は切断でしか調べることが出来なかったが、レーザーを用いた光計測技術を新たに開発し、精度の異なる試験片を使った実験にAIを適用することで、高い確率で正確に精度を分類できることが判明した。これらの成果を国際出願し今後の国内外を対象とする事業化に向けた準備ができた。研究開発事業としては終了するが、引き続き関係者間の連携により医療器具や深孔加工技術、内面計測装置などの分野で事業化を目指す活動を継続していく。

②メガロ化工株式会社（焼津市）

テーマ：「次世代コミュニケーションランプの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立」
(2年目/3年間)

<これまでの成果>

初年度の基礎開発をベースに、慶應大学の柿沼教授が開発しているセンサレスでの高精度加工のための制御技術を初年度にメガロ化工(株)に設置した大型精密加工装置に実装することができた。実装された技術をもとに切削実験を重ね、求める加工に必要な切削条件や機械特性の把握を進めることができた。また、加工精度を正確に計測するために必要な加工面を精密に転写する手法の開発ができた。研究開発推進委員会の開催を通じ、研究者間、川下企業等との情報共有を図りながら開発を進めた結果、中間評価でも高い評価を得ることができた。

③株式会社クメタ製作所（吉田町）

テーマ：「大容積大気圧プラズマ技術を活用した低温食材殺菌機の開発」
(1年目/3年間)

<これまでの成果>

申請支援の結果、事業採択を受けることができ本年度から事業を開始した。殺菌機能を発するプラズマ放電電極について二つのタイプ的设计・製作および動作確認を行った。一つは、ガス吹付型で当面の目標である電極間隔20mmにおいて電極表面全域に広がった放電の生成を確認できた。他方、電極可動型についても動作確認ができた。この放電電極を用いた殺菌実験の結果、照射前の一般生菌数が照射後に明らかに減少できることを確認した。また、食材の色彩、粒度分布に変化がないことも確認できた。また、研究開発推進委員会を2回開催し、研究開発の方向性と技術動向などについて情報共有を図り中間評価でよい評価が得られた。

④アドバンスコンポジット株式会社（富士市）

テ ー マ：「エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鑄造技術の開発」（1年目/3年間）

<これまでの成果>

申請支援の結果、事業採択を受けることができ本年度から事業を開始した。複合材料の骨材となる難成形性のセラミック粉末の成形実験を行い、目的形状に成形する技術を確立できた。また、セラミック成形体とアルミニウムの複合材料を作成し、目標強度に近い強度の材料を得るとともに更なる改善の方法を見出すなど、概ね予定通りの研究開発ができた。また、研究開発推進委員会を2回開催すると共に、研究者会議を随時開催し研究開発の方向性と技術動向などについて情報共有を図り中間評価で高い評価が得られた。

⑤株式会社ゾディアック（浜松市）

テ ー マ：「航空宇宙分野セラミックマトリックス複合材料（CMC）の3次元配向分析技術開発による検査技術の確立」（1年目/3年間）

<これまでの成果>

申請支援の結果、事業採択を受けることができ本年度から事業を開始した。CMC 成形品内部における強化繊維の配向性を観察する技術である CT 検査において、優れた撮像を得るための最適姿勢算出ロジック及び、その最適姿勢となるように成形品を固定する安価な治具を自動作成する機能を開発した。さらに、複雑な繊維束の3次元配向を理解しやすく表示するための表示用ソフトウェアの開発を完了することができた。また、研究開発推進委員会を2回開催すると共に研究者同士のweb会議により、研究開発の方向性と技術動向などについて情報共有を図り中間評価で高い評価が得られた。

公4 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト

事業費 146,704 千円 (113,416 千円)

県で策定したフーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略計画に基づき、同プロジェクトを推進する中核機関として、地域資源を活用した高付加価値型食品等の開発及び県内に集積する食品・医薬品・化成品産業を母体にした次世代型の食品・化成品関連産業の創出を図った。

また、県、県立大学と連携して「健康食」をテーマとするイノベーションに基づく食品産業の高付加価値化の推進を図った。

1 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業

事業費 100,547,689 円

フーズ・サイエンスセミナー及びワークショップの開催、各種展示会等への出展及び事業化コーディネーター等によるビジネスマッチングを推進することにより、産学官連携による機能性食品の開発等を促進し、食品・化成品関連産業の振興と集積を図った。

(1) フーズ・サイエンスセミナー及びワークショップ等の開催

サイエンスアドバイザーや販路開拓・拡大アドバイザーの知見により付加価値の高い施策を展開した。

①フーズ・サイエンスセミナー

参画市(静岡市・焼津市・藤枝市)と連携して企業の関心が高いテーマを中心にセミナー等を実施した。

開催日	開催地	参加人数	内容
R 元. 8. 1	静岡市	90 人	市場を見据えた機能性表示食品の商品開発セミナー
R 元. 10. 8	焼津市	36 社	食品バイヤー36 社との個別商談会 in 焼津
R2. 2. 27	藤枝市	24 社	食品バイヤー24 社との個別商談会 in 藤枝
計		150 人・社	

②ワークショップ

食品関連企業自らの強みを活かし市場に合った課題解決を支援するため、専門家等による少人数講義(ワークショップ)等を開催した。

開催日	テーマ	場所	講師等
R2. 9. 3	展示会勉強会(焼津市単独)	東京ビッグサイト	海野アドバイザー
	焼津市主催の展示会勉強会の講師役として販路開拓・拡大アドバイザーが参加 東京インターナショナルギフトショー、グルメ&ダイニングスタイルショー 参加者：18名		

＜サイエンス、販路開拓・拡大アドバイザー関連＞

分野	内容
機能性素材成分分析及び活用	ルテイン 計57検体 → DB化
産官学民金、各種クラスターとの連携促進	AOI、MOI、静岡市海洋産業クラスター協議会支援施策の適切な審査への協力
成果品等販売支援	延べ93件 34社77品目 水産加工品、お菓子、スイーツ、飲料ほか

(2) 各種展示会等への出展

プロジェクトの情報発信と食品・化成品関連企業の販路開拓のため、県内外の展示会への出展支援を実施した。

	展示会等名	開催期日	会場	出展支援企業
1	ウェルネス フードジャパン	R元. 7. 3(水) ～5(金)	パシフィコ横浜 (横浜市)	フーズ事業・成果品等のPR
2	静岡メイカン 総合食品展示商談会	R元. 7. 11(木) ～12(金)	アクトシティ浜松 (浜松市)	フーズ事業・成果品等のPR
3	北洋銀行ものづくり テクノフェア	R元. 7. 25(木)	アクセスサッポロ (札幌市)	①西光エンジニアリング(株)、②東洋レジン(株)、③ビートセンシング(株)
4	インフォメーション バザール inTokyo	R元. 9. 5(木) ～9/6(金)	池袋サンシャインシティ (東京都豊島区)	①Agri do、②SHOUJI、 ③ホテイフーズコーポレーション、④ カネジョウ、⑤はの字食品、⑥マルフク、 ⑦柳屋本店、⑧シーラック、⑨三 共椎茸、⑩松田商店、⑪カネイー言製 茶、⑫高森商店、⑬増田採種場、⑭復 泉会 KuRuMix、⑮やまと興業
5	アンチエイジング ジャパン2018	R元. 9. 9(月) ～9. 11(水)	東京ビックサイト (東京都江東区)	フーズ事業・成果品等のPR
6	高校生実学フェスタ	R元. 10. 19(土)	ツインメッセ (静岡市)	フーズ事業・成果品等のPR
7	第9回産業振興フェア inいわた	R元. 11. 8(金) ～11. 9(土)	アミューズ豊田 (磐田市)	①ケーイーコーポレーション、 ②岩清、③尾州真味屋総本舗
8	静岡県化粧品展	R元. 12. 6(金) ～8(日)	上海長寧来福士 (中国上海市)	①(株)バスクリン、②サンスター(株)、 ③(株)シーク、④アクシージア
9	ふじのくに総合食品 開発展	R2. 1. 16(木)	グランシップ (静岡市)	①(株)HOLY、②(株)岩清、③(株)いちまる、 ④JA 静岡経済連、⑤(有)トクナガコー ヒー、⑥(株)レウドバック、⑦尾州真味 屋層本舗
10	第10回化粧品開発展	R2. 1. 20(月) ～1. 22(水)	幕張メッセ (千葉市)	①日研フーズ、②(株)白形傳四郎商店、 ③SeaJewe、④(株)ミズバラエティー、 ⑤(株)ビートセンシング、⑥フェイス ラボ、⑦増田紙工(株)
11	メディケアフーズ展	R2. 1. 28(火) ～1/29(水)	東京ビックサイト (東京都江東区)	①(株)杉初水産、②葉っパイ向島園 ③(株)Tuna Advanced Functional Food、 ④トモニ(株)、⑤(株)SHOUJI、⑥東海物産 (株)、⑦(一社)日本医食促進協会

12	静岡食の商談会	R2. 1. 29(水)	アワーズイン阪急 (東京都品川区)	①(株)松田商店、②あらしお(株)、③DHA マリンフーズ、④(株)岩清、⑤(株)HOLY、 ⑥沖友、⑦静岡ファーム セティボ ン?、⑧高柳製茶
13	スーパーマーケット トレードショー	R2. 2. 12(水) ～2. 14(金)	幕張メッセ (千葉市)	①(株)カクサ、②(株)片山、③(株)田丸屋、 ④合資会社高福、⑤(株)白形傳四郎商店、 ⑥石田街詰(株)、⑦(株)柳屋本店、⑧静岡 県産醤油、⑨(株)丸晶、⑩(株)沖友、⑪(株) マルマツ、⑫ヤマヤ醤油(有)、⑬(株)SHOUJI ⑭佐々木製茶、⑮空とぶ合同会社
14	シーフードショー大阪	R2. 2. 19(水) ～2. 20(金)	ATC ホール (大阪市)	①(有)渡辺水産、②(株)杉初水産、③(株) カクサ、④ヤマイチ商店、⑤潮宝食品 (株)、⑥あらしお(株)、⑦(株)カネヨ
15	地方の機能性食品出前 商談会	R2. 2. 26(水)	伊藤忠食品(株) (東京都港区)	①(株)増田採種場、②丸山製茶(株)、③ 静岡県経済農業協同組合連合会

<平成 30 年度事業の主な成果>

事業名	年度	出展者数	調査時点	来場者数	商談件数	成約件数	成約金額
スーパーマーケット トレードショー	30	13 社	1 年後	88,412 名	306 件	39 件	12,810 千円
アンチエイジングジ ャパン	30	6 社	1 年後	26,966 名	87 件	6 件	2,788 千円

(3) 事業化コーディネーター等によるビジネスマッチングの推進

専門性に特化したアドバイザーや食品・化成品分野に精通したコーディネーターにより、製品開発から販路開拓にわたる様々な相談に対応した。

活動内容	件数
商品開発支援	138 件
工程改善支援	11 件
販路促進支援	414 件
情報提供	668 件
機能性支援	198 件
助成金支援	44 件
その他	629 社
計	2,102 件

(4) 機能性表示制度支援プラットフォーム利用状況 (H27 年度から累計)

相談件数	ヒト介入試験実施件数	システムティックレビュー実施件数
161(837)件	1(7)件	7(25)件

(5) 化成品関連産業への支援

ア 化粧品開発プラットフォーム課題解決研究委託

コーディネーターが製品開発につながる課題を発掘し、その課題解決に必要な県内産素材の調査・分析を行い、その結果を公表することで、製品開発を促進した。

イ 化粧品等研究開発推進事業助成金

申請件数	申請金額	採択件数	交付確定額
3 件	5,725 千円	3 件	2,940 千円

ウ コスメティックフォーラム静岡 2019

開催場所	ホテルセンチュリー静岡(静岡市駿河区南町 18-1)
開催日	令和元年 10 月 15 日(火)
開催目的	県内化粧品産業の更なる振興を図るため、専門家を招いて最新の化粧品産業の動向を紹介
参加者数	106 名

エ 化粧品スキルアップセミナー

開催場所	静岡市産学交流センター（静岡市葵区御幸町 3-21）
開催日	令和2年1月28日（火）
開催目的	化粧品産業に携わる関係者向けの人材育成
参加者数	85名

オ しずおかコスメマルシェ

開催場所	富士山静岡空港（牧之原市坂口 3336-4）
開催日	令和2年1月29日（水）～2月3日（月）
開催目的	空港利用者（一般消費者）に対する静岡県産の化粧品PR
参加企業	4社

2 高付加価値型食品等開発推進事業

事業費 8,663,465 円

機能性食品などの高付加価値型食品等の事業化・製品化を目指す県内の食品関連企業等に対し、試作品開発・実証試験等への支援に取り組んだ。（対象経費 1/2 以内、限度額 2,000 千円）

(1) 食品等開発助成事業

申請件数・金額			採択件数・金額			交付確定件数・金額		
9件	機能性食品等 7件 食品加工機械 2件	12,437 千円	5件	同3件 同2件	8,000 千円	5件	同3件 同2件	6,338 千円

申請者	所在地	事業概要	交付確定額
西光エンジニアリング(株)	藤枝市	減圧発酵茶の量産化用実験機の開発（食品加工機械）	2,000 千円
(株)ロジパック	磐田市	摘果前の果実の音波による熟度判定装置（食品加工機械）	715 千円
フジ日本精糖(株)	静岡市	イヌリンを利用した機能性表示可能な粉末飲料の開発（機能性食品）	1,750 千円
(株)アイファーム	浜松市	機能性表示食品として届出が可能なスルフォラファン高含有ブロッコリーの開発（機能性食品）	1,514 千円
(株)磯崎海苔	静岡市	機能性を謳える健康スープの開発（機能性食品）	359 千円
合 計			6,338 千円

<これまでの成果>

助成金名	助成件数(累計)	調査対象	商品化件数	販売金額
食品等開発助成金	H23～31 (70 社)	H28～30	23 件	162,809 千円

(2) 食品等開発研究会の開催

研究会	5 部会：参画企業数		交付確定額
育成型企業	シェフ・ド・レギューム部会 ベジフィッシュ部会 色どりカレー部会	3 社	1,065 千円
機能性素材活用	GABA ストレス部会 DHA・EPA部会	6 社	

<これまでの成果>

助成金名	助成件数(累計)	調査対象	商品化件数	販売金額
食品等開発研究会	H23～31 (44 件)	H28～30	10 件	1,823,808 千円

○各部会事業概要

部会(開発テーマ)	参加企業	製品名
シェフ・ド・レギューム 部会	(株)いちまる(焼津市)	もち麦とクルミのベリー風味 キヌアと豆のクミン風味
ベジフィッシュ部会	(株)岩清(焼津市)	鯖のアクアパッツア
色どりカレー部会	(株)HOLY(西伊豆町)	白いダチョウカレー 赤いダチョウチリコンカン 黒いダチョウシチュー
GABA ストレス部会	(株)増田採種場(磐田市)	機能性素材(GABA)を活用した商品開発
DHA・EPA部会	焼津冷蔵(株)(焼津市)	機能性素材DHA・EPAを活用した商品開発

3 産業人材育成事業

事業費 2,247,000 円

総合食品学講座を実施し、食品関連企業における製品開発の中核的人材育成に取り組んだ。

開催日	内容	会場	受講者数
R元. 7.11~10.24 全14日間	A:食品の加工技術 (10講座) B:食品の安心・安全技術 (8講座) C:マーケティング・販売戦略(6講座) D:実習(微生物検査技術など)(6講座) 計30テーマ	静岡県立大学 静岡県工業技術 研究所 他	一括受講者 : 24名 一括受講者相当 : 1名 個別受講者 : 49名 個人修了認定 : 21名 事業者修了認定 : 0社

4 健康食イノベーション推進事業

事業費 29,342,943 円

(1) オープンイノベーション・プラットフォームの構築

産学官金の交流を通じたオープンイノベーションを促進するため、財団に新たに「健康食コーディネーター」を配置するとともに、県・県立大学と連携した「健康・食イノベーションフォーラム」を実施した。

○健康・食イノベーションフォーラム

開催場所	グランディエール プケトカーイ (静岡市葵区紺屋町17-1)
開催日	令和2年1月31日(金)
開催目的	健康・食イノベーション推進事業の周知と「健康・食フォーラム」の会員募集
参加者数	121名

(2) 需要創造・販路開拓

○健康食イノベーションセミナー&情報交換会

開催場所	ホテルセンチュリー静岡 (静岡市駿河区南町18-1)
開催日	令和元年11月18日(月)
開催目的	プロジェクト成果品等を活用した「健康食」メニューの開発を支援し、消費者がこれらのメニューを身近で召し上がれる機会の提供
参加者数	96名

○メディシェフと連携した健康に配慮した新メニュー開発

期 間	令和元年11月～2年1月
内 容	(一社)日本医食促進協会と連携して、県内5店舗において、健康に配慮した新メニュー開発を促進 ・メディシェフ講義の受講 ・レシピ開発支援 ・テストマーケティング ・成果報告会

○機能性表示食品等健康に配慮した食料品等の販路開拓①

展 示 会 名	メディケアフーズ展2020
開 催 日	令和2年1月28日(火)～29日(水)
参 加 社 数	7社/団体

○機能性表示食品等健康に配慮した食料品等の販路開拓②

展 示 会 名	シーフードショー大阪
開 催 日	令和2年2月19日(水)～20日(木)
参 加 社 数	7社

○機能性表示食品等健康に配慮した食料品等の販路開拓③

展 示 会 名	地方の機能性食品出前商談会
開 催 日	令和2年2月26日(水)
参 加 社 数	3社

○オリーブ健康食セミナー

開 催 場 所	ホテルセンチュリー静岡
開 催 日	令和2年2月5日(水)
開 催 目 的	オリーブの可能性や健康機能に関する専門家を招き、オリーブを使った新商品・新メニュー開発を促進
参 加 者 数	27名

○香港における食品テストマーケティング&現地バイヤーとの商談会

フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト成果品や加工食品などの海外展開支援強化を図るため、香港におけるテストマーケティング&現地バイヤーとの商談会を実施した

テストマーケティング	令和元年12月21日から2月9日までの51日間、マンションのラウンジ内と商業施設に自動販売機を設置し、県内12社28商品を宣伝・販売することで、市場調査を実施
商 談 会	令和2年1月23日から24日の2日間、香港の日本食品小売通販・日本食材総合商社など4社と出展企業3社が商談会を実施
プロモーション	令和2年1月25日、香港の商業施設において、28商品の試食・即売会を実施